新旧対照表

○ 道路交通法等の改正等に係る審査基準

(赤文字及び下線部分は改正部分)

改正後	改正前	備考
<p style="text-align: center;">審 査 基 準</p> <p style="text-align: right;">令和7年<u>3</u>月<u>24</u>日作成</p>	<p style="text-align: center;">審 査 基 準</p> <p style="text-align: right;">令和7年<u>2</u>月<u>5</u>日作成</p>	
<p>法 令 名：道路交通法</p>	<p>法 令 名：道路交通法</p>	
<p>根 拠 条 項：第99条第1項</p>	<p>根 拠 条 項：第99条第1項</p>	
<p>処 分 の 概 要：指定自動車教習所の指定</p>	<p>処 分 の 概 要：指定自動車教習所の指定</p>	
<p>原権者（委任先）：千葉県公安委員会</p>	<p>原権者（委任先）：千葉県公安委員会</p>	
<p>法 令 の 定 め：道路交通法第99条（指定自動車教習所の指定）、第99条の2（技能検定員）、第99条の3（教習指導員） 道路交通法施行令第35条（指定自動車教習所の指定の基準） 道路交通法施行規則第32条（コースの種類、形状及び構造の基準）、第33条（教習の時間及び方法）、第34条の3（指定前における教習の基準）、第34条の4（指定前における教習を修了した者に対する技能試験） 技能検定員審査等に関する規則第6条（技能検定員審査に合格した者等と同等以上の技能及び知識を有すると認める者としての認定）、第14条（教習指導員審査に合格した者等と同等以上の技能及び知識がある者と認める者としての認定） 指定自動車教習所等の教習の基準の細目に関する規則第1条（教習の科目の基準の細目）、第2条（教習時間の基準の細目）、第3条（教習方法の基準の細目）、第4条（教習方法の基準の細目）、第5条（指定前における教習の基準の細目）</p>	<p>法 令 の 定 め：道路交通法第99条（指定自動車教習所の指定）、第99条の2（技能検定員）、第99条の3（教習指導員） 道路交通法施行令第35条（指定自動車教習所の指定の基準） 道路交通法施行規則第32条（コースの種類、形状及び構造の基準）、第33条（教習の時間及び方法）、第34条の3（指定前における教習の基準）、第34条の4（指定前における教習を修了した者に対する技能試験） 技能検定員審査等に関する規則第6条（技能検定員審査に合格した者等と同等以上の技能及び知識を有すると認める者としての認定）、第14条（教習指導員審査に合格した者等と同等以上の技能及び知識がある者と認める者としての認定） 指定自動車教習所等の教習の基準の細目に関する規則第1条（教習の科目の基準の細目）、第2条（教習時間の基準の細目）、第3条（教習方法の基準の細目）、第4条（教習方法の基準の細目）、第5条（指定前における教習の基準の細目）</p>	
<p>審 査 基 準：指定自動車教習所の指定の基準は、別紙のとおり。</p>	<p>審 査 基 準：指定自動車教習所の指定の基準は、別紙のとおり。</p>	
<p>標 準 処 理 期 間：14日</p>	<p>標 準 処 理 期 間：14日</p>	
<p>申 請 先：交通部運転免許本部運転教育課</p>	<p>申 請 先：交通部運転免許本部運転教育課</p>	
<p>問 い 合 せ 先：交通部運転免許本部運転教育課 教習所指導係（043-274-2000）</p>	<p>問 い 合 せ 先：交通部運転免許本部運転教育課 教習所指導係（043-274-2000）</p>	
<p>備 考：</p>	<p>備 考：</p>	

改正後	改正前	備考
<p>別紙</p> <p>都道府県公安委員会（以下「公安委員会」という。）は、道路交通法（以下「法」という。）第98条第2項の規定による届出をした自動車教習所のうち、職員、設備等に関する法第99条第1項に掲げる基準に適合するものを、当該自動車教習所を設置し、又は管理する者の申請に基づき、指定自動車教習所として指定する。</p> <p>〔1～2 略〕</p> <p>3 法第99条第1項第3号関係</p> <p>(1) 教習指導員の選任等</p> <p>法第99条第1項第3号の基準のうち、「選任」の時期は、管理者が事実上の選任行為をしたときをいい、公安委員会に選任の届出をしたときではない。教習指導員の数は、当該施設において教習又は技能検定を受ける者の数等に応じて適当な数を置くものとする。</p> <p>(2) 教習指導員資格者証の交付の基準</p> <p>教習指導員資格者証の交付の基準は、法第99条の3第4項及び第5項並びに技能検定員審査等に関する規則に規定されているが、法第99条の3第4項の「卒業証明書又は修了証明書の発行に関し不正な行為」とは、府令第33条の教習の時間及び方法に関する基準に違反する行為（例えば、無資格教習、教習時限の欠略、教習時限の時間短縮等）等卒業証明書等の発行に関連する違法な行為をいう。ただし、違法行為をしたことについてその者に認識がなかった場合（例えば、<u>免許証等</u>の更新をせず、失効したことに気付かず教習に従事した場合等）は、直ちに「不正な行為」に該当することとはならない。</p> <p>〔4～5 略〕</p>	<p>別紙</p> <p>都道府県公安委員会（以下「公安委員会」という。）は、道路交通法（以下「法」という。）第98条第2項の規定による届出をした自動車教習所のうち、職員、設備等に関する法第99条第1項に掲げる基準に適合するものを、当該自動車教習所を設置し、又は管理する者の申請に基づき、指定自動車教習所として指定する。</p> <p>〔1～2 略〕</p> <p>3 法第99条第1項第3号関係</p> <p>(1) 教習指導員の選任等</p> <p>法第99条第1項第3号の基準のうち、「選任」の時期は、管理者が事実上の選任行為をしたときをいい、公安委員会に選任の届出をしたときではない。教習指導員の数は、当該施設において教習又は技能検定を受ける者の数等に応じて適当な数を置くものとする。</p> <p>(2) 教習指導員資格者証の交付の基準</p> <p>教習指導員資格者証の交付の基準は、法第99条の3第4項及び第5項並びに技能検定員審査等に関する規則に規定されているが、法第99条の3第4項の「卒業証明書又は修了証明書の発行に関し不正な行為」とは、府令第33条の教習の時間及び方法に関する基準に違反する行為（例えば、無資格教習、教習時限の欠略、教習時限の時間短縮等）等卒業証明書等の発行に関連する違法な行為をいう。ただし、違法行為をしたことについてその者に認識がなかった場合（例えば、<u>免許証</u>の更新をせず、失効したことに気付かず教習に従事した場合等）は、直ちに「不正な行為」に該当することとはならない。</p> <p>〔4～5 略〕</p>	<p>「等」を追加</p>

改正後	改正前	備考																																																																																										
<p>別添1 第1 第一種免許に係る学科教習の標準 1 学科(一)(第1段階) (1) 教習の科目 本科目の基準の細目に係る教習規則の規定並びに本科目の項目名及び内容は次のとおりである。</p>	<p>別添1 第1 第一種免許に係る学科教習の標準 1 学科(一)(第1段階) (1) 教習の科目 本科目の基準の細目に係る教習規則の規定並びに本科目の項目名及び内容は次のとおりである。</p>																																																																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="143 282 264 300">教習規則(別表第5)</th> <th data-bbox="271 282 555 300">項 目 名</th> <th data-bbox="562 282 958 300">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="143 304 264 368">1 法第108条の28第4項各号に掲げる事項であって、別表第1第1号から第3号まで、別表第2第1号から第3号まで及び別表第3第1号から第3号までに掲げる事項に関するもの</td> <td data-bbox="271 304 555 368">1 運転者の心得</td> <td data-bbox="562 304 958 368"> <ul style="list-style-type: none"> ・ くるま社会人としてのモラルと責任 ・ 酒気帯び運転の禁止 ・ 交通法令の遵守 ・ 運転に必要な準備 </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="271 373 555 400">2 信号に従うこと</td> <td data-bbox="562 373 958 400"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 信号の種類と意味 ・ 信号に対する注意 </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="271 405 555 432">3 標識・標示等に従うこと</td> <td data-bbox="562 405 958 432"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 標識・標示の種類と意味 ・ 警察官等の指示 </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="271 437 555 576">4 車が通行するところ、車が通行してはいけないところ</td> <td data-bbox="562 437 958 576"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 車道通行の原則と例外 ・ 左側通行の原則と例外 ・ 車両通行帯のない道路における通行 ・ 車両通行帯のある道路における通行 ・ 不必要な車線変更の禁止 ・ 標識・標示による通行禁止 ・ 歩道・歩行者用道路等の通行禁止と例外 ・ 交通状況による進入禁止 </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="271 580 555 608">5 緊急自動車等の優先</td> <td data-bbox="562 580 958 608"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急自動車の優先 ・ 路線バス等の優先 </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="271 612 555 699">6 交差点等の通行、踏切</td> <td data-bbox="562 612 958 699"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交差点等の通行方法 ・ 交差点を通行するときの注意 ・ 交通整理の行われていない交差点の通行方法 ・ 踏切の通過方法等 ・ 踏切上での故障時等の措置 </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="271 703 555 790">7 安全な速度と車間距離</td> <td data-bbox="562 703 958 790"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最高速度 ・ 速度と停止距離 ・ 安全な速度と車間距離 ・ ブレーキのかけ方 ・ 徐行 </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="271 794 555 927">8 歩行者の保護等</td> <td data-bbox="562 794 958 927"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行者の保護(そばを通るとき、横断しているときなど) ・ 自転車の保護(そばを通るとき、横断しているときなど) ・ 子供や身体の不自由な人の保護 ・ 初心運転者、高齢運転者、聴覚障害のある運転者等の保護 ・ 他人に迷惑をかける運転の禁止 </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="271 932 555 1018">9 安全の確認と合図、警告器の使用</td> <td data-bbox="562 932 958 1018"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全確認の方法 ・ 合図を行う場合と方法 ・ 必要以外の合図の禁止 ・ 警告器を使用する場合 ・ 警告器の使用制限 </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="271 1023 555 1066">10 進路変更等</td> <td data-bbox="562 1023 958 1066"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 進路変更の禁止 ・ 横断、転回等の禁止 ・ 割り込み、横切り等の禁止 </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="271 1070 555 1129">11 追い越し</td> <td data-bbox="562 1070 958 1129"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 追い越しの禁止 ・ 追い越しの方法 ・ 追い越されるとき注意 </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="271 1134 555 1161">12 行き違い</td> <td data-bbox="562 1134 958 1161"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 側方間隔の保持 ・ 障害物があるときの避讓 </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="271 1166 555 1278">13 運転免許制度、交通反則通告制度</td> <td data-bbox="562 1166 958 1278"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運転免許の仕組み ・ 運転免許証又は免許情報記録の有効期間の更新等 ・ 点数制度の概要 ・ 運転免許の取消し、停止等 ・ 初心運転者期間制度 ・ 取消処分者講習制度 ・ 交通反則通告制度の概要 </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="271 1283 555 1310">14 オートマチック車などの運転</td> <td data-bbox="562 1283 958 1310"> <ul style="list-style-type: none"> ・ オートマチック車の運転 ・ 先進安全自動車(ASV)の運転 </td> </tr> </tbody> </table>	教習規則(別表第5)	項 目 名	内 容	1 法第108条の28第4項各号に掲げる事項であって、別表第1第1号から第3号まで、別表第2第1号から第3号まで及び別表第3第1号から第3号までに掲げる事項に関するもの	1 運転者の心得	<ul style="list-style-type: none"> ・ くるま社会人としてのモラルと責任 ・ 酒気帯び運転の禁止 ・ 交通法令の遵守 ・ 運転に必要な準備 		2 信号に従うこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信号の種類と意味 ・ 信号に対する注意 		3 標識・標示等に従うこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標識・標示の種類と意味 ・ 警察官等の指示 		4 車が通行するところ、車が通行してはいけないところ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車道通行の原則と例外 ・ 左側通行の原則と例外 ・ 車両通行帯のない道路における通行 ・ 車両通行帯のある道路における通行 ・ 不必要な車線変更の禁止 ・ 標識・標示による通行禁止 ・ 歩道・歩行者用道路等の通行禁止と例外 ・ 交通状況による進入禁止 		5 緊急自動車等の優先	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急自動車の優先 ・ 路線バス等の優先 		6 交差点等の通行、踏切	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交差点等の通行方法 ・ 交差点を通行するときの注意 ・ 交通整理の行われていない交差点の通行方法 ・ 踏切の通過方法等 ・ 踏切上での故障時等の措置 		7 安全な速度と車間距離	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最高速度 ・ 速度と停止距離 ・ 安全な速度と車間距離 ・ ブレーキのかけ方 ・ 徐行 		8 歩行者の保護等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行者の保護(そばを通るとき、横断しているときなど) ・ 自転車の保護(そばを通るとき、横断しているときなど) ・ 子供や身体の不自由な人の保護 ・ 初心運転者、高齢運転者、聴覚障害のある運転者等の保護 ・ 他人に迷惑をかける運転の禁止 		9 安全の確認と合図、警告器の使用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全確認の方法 ・ 合図を行う場合と方法 ・ 必要以外の合図の禁止 ・ 警告器を使用する場合 ・ 警告器の使用制限 		10 進路変更等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進路変更の禁止 ・ 横断、転回等の禁止 ・ 割り込み、横切り等の禁止 		11 追い越し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 追い越しの禁止 ・ 追い越しの方法 ・ 追い越されるとき注意 		12 行き違い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 側方間隔の保持 ・ 障害物があるときの避讓 		13 運転免許制度、交通反則通告制度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転免許の仕組み ・ 運転免許証又は免許情報記録の有効期間の更新等 ・ 点数制度の概要 ・ 運転免許の取消し、停止等 ・ 初心運転者期間制度 ・ 取消処分者講習制度 ・ 交通反則通告制度の概要 		14 オートマチック車などの運転	<ul style="list-style-type: none"> ・ オートマチック車の運転 ・ 先進安全自動車(ASV)の運転 	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="994 282 1115 300">教習規則(別表第5)</th> <th data-bbox="1122 282 1406 300">項 目 名</th> <th data-bbox="1413 282 1809 300">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="994 304 1115 368">1 法第108条の28第4項各号に掲げる事項であって、別表第1第1号から第3号まで、別表第2第1号から第3号まで及び別表第3第1号から第3号までに掲げる事項に関するもの</td> <td data-bbox="1122 304 1406 368">1 運転者の心得</td> <td data-bbox="1413 304 1809 368"> <ul style="list-style-type: none"> ・ くるま社会人としてのモラルと責任 ・ 酒気帯び運転の禁止 ・ 交通法令の遵守 ・ 運転に必要な準備 </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1122 373 1406 400">2 信号に従うこと</td> <td data-bbox="1413 373 1809 400"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 信号の種類と意味 ・ 信号に対する注意 </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1122 405 1406 432">3 標識・標示等に従うこと</td> <td data-bbox="1413 405 1809 432"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 標識・標示の種類と意味 ・ 警察官等の指示 </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1122 437 1406 576">4 車が通行するところ、車が通行してはいけないところ</td> <td data-bbox="1413 437 1809 576"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 車道通行の原則と例外 ・ 左側通行の原則と例外 ・ 車両通行帯のない道路における通行 ・ 車両通行帯のある道路における通行 ・ 不必要な車線変更の禁止 ・ 標識・標示による通行禁止 ・ 歩道・歩行者用道路等の通行禁止と例外 ・ 交通状況による進入禁止 </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1122 580 1406 608">5 緊急自動車等の優先</td> <td data-bbox="1413 580 1809 608"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急自動車の優先 ・ 路線バス等の優先 </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1122 612 1406 699">6 交差点等の通行、踏切</td> <td data-bbox="1413 612 1809 699"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交差点等の通行方法 ・ 交差点を通行するときの注意 ・ 交通整理の行われていない交差点の通行方法 ・ 踏切の通過方法等 ・ 踏切上での故障時等の措置 </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1122 703 1406 790">7 安全な速度と車間距離</td> <td data-bbox="1413 703 1809 790"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最高速度 ・ 速度と停止距離 ・ 安全な速度と車間距離 ・ ブレーキのかけ方 ・ 徐行 </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1122 794 1406 927">8 歩行者の保護等</td> <td data-bbox="1413 794 1809 927"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行者の保護(そばを通るとき、横断しているときなど) ・ 自転車の保護(そばを通るとき、横断しているときなど) ・ 子供や身体の不自由な人の保護 ・ 初心運転者、高齢運転者、聴覚障害のある運転者等の保護 ・ 他人に迷惑をかける運転の禁止 </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1122 932 1406 1018">9 安全の確認と合図、警告器の使用</td> <td data-bbox="1413 932 1809 1018"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全確認の方法 ・ 合図を行う場合と方法 ・ 必要以外の合図の禁止 ・ 警告器を使用する場合 ・ 警告器の使用制限 </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1122 1023 1406 1066">10 進路変更等</td> <td data-bbox="1413 1023 1809 1066"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 進路変更の禁止 ・ 横断、転回等の禁止 ・ 割り込み、横切り等の禁止 </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1122 1070 1406 1129">11 追い越し</td> <td data-bbox="1413 1070 1809 1129"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 追い越しの禁止 ・ 追い越しの方法 ・ 追い越されるとき注意 </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1122 1134 1406 1161">12 行き違い</td> <td data-bbox="1413 1134 1809 1161"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 側方間隔の保持 ・ 障害物があるときの避讓 </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1122 1166 1406 1278">13 運転免許制度、交通反則通告制度</td> <td data-bbox="1413 1166 1809 1278"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運転免許の仕組み ・ 運転免許証の更新 ・ 点数制度の概要 ・ 運転免許の取消し、停止等 ・ 初心運転者期間制度 ・ 取消処分者講習制度 ・ 交通反則通告制度の概要 </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1122 1283 1406 1310">14 オートマチック車などの運転</td> <td data-bbox="1413 1283 1809 1310"> <ul style="list-style-type: none"> ・ オートマチック車の運転 ・ 先進安全自動車(ASV)の運転 </td> </tr> </tbody> </table>	教習規則(別表第5)	項 目 名	内 容	1 法第108条の28第4項各号に掲げる事項であって、別表第1第1号から第3号まで、別表第2第1号から第3号まで及び別表第3第1号から第3号までに掲げる事項に関するもの	1 運転者の心得	<ul style="list-style-type: none"> ・ くるま社会人としてのモラルと責任 ・ 酒気帯び運転の禁止 ・ 交通法令の遵守 ・ 運転に必要な準備 		2 信号に従うこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信号の種類と意味 ・ 信号に対する注意 		3 標識・標示等に従うこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標識・標示の種類と意味 ・ 警察官等の指示 		4 車が通行するところ、車が通行してはいけないところ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車道通行の原則と例外 ・ 左側通行の原則と例外 ・ 車両通行帯のない道路における通行 ・ 車両通行帯のある道路における通行 ・ 不必要な車線変更の禁止 ・ 標識・標示による通行禁止 ・ 歩道・歩行者用道路等の通行禁止と例外 ・ 交通状況による進入禁止 		5 緊急自動車等の優先	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急自動車の優先 ・ 路線バス等の優先 		6 交差点等の通行、踏切	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交差点等の通行方法 ・ 交差点を通行するときの注意 ・ 交通整理の行われていない交差点の通行方法 ・ 踏切の通過方法等 ・ 踏切上での故障時等の措置 		7 安全な速度と車間距離	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最高速度 ・ 速度と停止距離 ・ 安全な速度と車間距離 ・ ブレーキのかけ方 ・ 徐行 		8 歩行者の保護等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行者の保護(そばを通るとき、横断しているときなど) ・ 自転車の保護(そばを通るとき、横断しているときなど) ・ 子供や身体の不自由な人の保護 ・ 初心運転者、高齢運転者、聴覚障害のある運転者等の保護 ・ 他人に迷惑をかける運転の禁止 		9 安全の確認と合図、警告器の使用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全確認の方法 ・ 合図を行う場合と方法 ・ 必要以外の合図の禁止 ・ 警告器を使用する場合 ・ 警告器の使用制限 		10 進路変更等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進路変更の禁止 ・ 横断、転回等の禁止 ・ 割り込み、横切り等の禁止 		11 追い越し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 追い越しの禁止 ・ 追い越しの方法 ・ 追い越されるとき注意 		12 行き違い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 側方間隔の保持 ・ 障害物があるときの避讓 		13 運転免許制度、交通反則通告制度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転免許の仕組み ・ 運転免許証の更新 ・ 点数制度の概要 ・ 運転免許の取消し、停止等 ・ 初心運転者期間制度 ・ 取消処分者講習制度 ・ 交通反則通告制度の概要 		14 オートマチック車などの運転	<ul style="list-style-type: none"> ・ オートマチック車の運転 ・ 先進安全自動車(ASV)の運転 	<p>免許情報記録の有効期限について、学科教習に追加した。</p>
教習規則(別表第5)	項 目 名	内 容																																																																																										
1 法第108条の28第4項各号に掲げる事項であって、別表第1第1号から第3号まで、別表第2第1号から第3号まで及び別表第3第1号から第3号までに掲げる事項に関するもの	1 運転者の心得	<ul style="list-style-type: none"> ・ くるま社会人としてのモラルと責任 ・ 酒気帯び運転の禁止 ・ 交通法令の遵守 ・ 運転に必要な準備 																																																																																										
	2 信号に従うこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信号の種類と意味 ・ 信号に対する注意 																																																																																										
	3 標識・標示等に従うこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標識・標示の種類と意味 ・ 警察官等の指示 																																																																																										
	4 車が通行するところ、車が通行してはいけないところ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車道通行の原則と例外 ・ 左側通行の原則と例外 ・ 車両通行帯のない道路における通行 ・ 車両通行帯のある道路における通行 ・ 不必要な車線変更の禁止 ・ 標識・標示による通行禁止 ・ 歩道・歩行者用道路等の通行禁止と例外 ・ 交通状況による進入禁止 																																																																																										
	5 緊急自動車等の優先	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急自動車の優先 ・ 路線バス等の優先 																																																																																										
	6 交差点等の通行、踏切	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交差点等の通行方法 ・ 交差点を通行するときの注意 ・ 交通整理の行われていない交差点の通行方法 ・ 踏切の通過方法等 ・ 踏切上での故障時等の措置 																																																																																										
	7 安全な速度と車間距離	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最高速度 ・ 速度と停止距離 ・ 安全な速度と車間距離 ・ ブレーキのかけ方 ・ 徐行 																																																																																										
	8 歩行者の保護等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行者の保護(そばを通るとき、横断しているときなど) ・ 自転車の保護(そばを通るとき、横断しているときなど) ・ 子供や身体の不自由な人の保護 ・ 初心運転者、高齢運転者、聴覚障害のある運転者等の保護 ・ 他人に迷惑をかける運転の禁止 																																																																																										
	9 安全の確認と合図、警告器の使用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全確認の方法 ・ 合図を行う場合と方法 ・ 必要以外の合図の禁止 ・ 警告器を使用する場合 ・ 警告器の使用制限 																																																																																										
	10 進路変更等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進路変更の禁止 ・ 横断、転回等の禁止 ・ 割り込み、横切り等の禁止 																																																																																										
	11 追い越し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 追い越しの禁止 ・ 追い越しの方法 ・ 追い越されるとき注意 																																																																																										
	12 行き違い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 側方間隔の保持 ・ 障害物があるときの避讓 																																																																																										
	13 運転免許制度、交通反則通告制度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転免許の仕組み ・ 運転免許証又は免許情報記録の有効期間の更新等 ・ 点数制度の概要 ・ 運転免許の取消し、停止等 ・ 初心運転者期間制度 ・ 取消処分者講習制度 ・ 交通反則通告制度の概要 																																																																																										
	14 オートマチック車などの運転	<ul style="list-style-type: none"> ・ オートマチック車の運転 ・ 先進安全自動車(ASV)の運転 																																																																																										
教習規則(別表第5)	項 目 名	内 容																																																																																										
1 法第108条の28第4項各号に掲げる事項であって、別表第1第1号から第3号まで、別表第2第1号から第3号まで及び別表第3第1号から第3号までに掲げる事項に関するもの	1 運転者の心得	<ul style="list-style-type: none"> ・ くるま社会人としてのモラルと責任 ・ 酒気帯び運転の禁止 ・ 交通法令の遵守 ・ 運転に必要な準備 																																																																																										
	2 信号に従うこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信号の種類と意味 ・ 信号に対する注意 																																																																																										
	3 標識・標示等に従うこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標識・標示の種類と意味 ・ 警察官等の指示 																																																																																										
	4 車が通行するところ、車が通行してはいけないところ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車道通行の原則と例外 ・ 左側通行の原則と例外 ・ 車両通行帯のない道路における通行 ・ 車両通行帯のある道路における通行 ・ 不必要な車線変更の禁止 ・ 標識・標示による通行禁止 ・ 歩道・歩行者用道路等の通行禁止と例外 ・ 交通状況による進入禁止 																																																																																										
	5 緊急自動車等の優先	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急自動車の優先 ・ 路線バス等の優先 																																																																																										
	6 交差点等の通行、踏切	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交差点等の通行方法 ・ 交差点を通行するときの注意 ・ 交通整理の行われていない交差点の通行方法 ・ 踏切の通過方法等 ・ 踏切上での故障時等の措置 																																																																																										
	7 安全な速度と車間距離	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最高速度 ・ 速度と停止距離 ・ 安全な速度と車間距離 ・ ブレーキのかけ方 ・ 徐行 																																																																																										
	8 歩行者の保護等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行者の保護(そばを通るとき、横断しているときなど) ・ 自転車の保護(そばを通るとき、横断しているときなど) ・ 子供や身体の不自由な人の保護 ・ 初心運転者、高齢運転者、聴覚障害のある運転者等の保護 ・ 他人に迷惑をかける運転の禁止 																																																																																										
	9 安全の確認と合図、警告器の使用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全確認の方法 ・ 合図を行う場合と方法 ・ 必要以外の合図の禁止 ・ 警告器を使用する場合 ・ 警告器の使用制限 																																																																																										
	10 進路変更等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進路変更の禁止 ・ 横断、転回等の禁止 ・ 割り込み、横切り等の禁止 																																																																																										
	11 追い越し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 追い越しの禁止 ・ 追い越しの方法 ・ 追い越されるとき注意 																																																																																										
	12 行き違い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 側方間隔の保持 ・ 障害物があるときの避讓 																																																																																										
	13 運転免許制度、交通反則通告制度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転免許の仕組み ・ 運転免許証の更新 ・ 点数制度の概要 ・ 運転免許の取消し、停止等 ・ 初心運転者期間制度 ・ 取消処分者講習制度 ・ 交通反則通告制度の概要 																																																																																										
	14 オートマチック車などの運転	<ul style="list-style-type: none"> ・ オートマチック車の運転 ・ 先進安全自動車(ASV)の運転 																																																																																										
〔(2)～(3) 略〕	〔(2)～(3) 略〕																																																																																											

改正後	改正前	備考
〔2 略〕 〔第2 略〕 〔別添2～8 略〕	〔2 略〕 〔第2 略〕 〔別添2～8 略〕	

新旧対照表

○ 道路交通法等の改正等に係る審査基準

(赤文字及び下線部分は改正部分)

改正後	改正前	備考
<p style="text-align: center;">審 査 基 準</p> <p style="text-align: right;">令和7年3月24日作成</p>	<p style="text-align: center;">審 査 基 準</p> <p style="text-align: right;">令和5年4月1日作成</p>	
<p>法 令 名：道路交通法</p>	<p>法 令 名：道路交通法</p>	
<p>根 拠 条 項：第99条の2第4項</p>	<p>根 拠 条 項：第99条の2第4項</p>	
<p>処 分 の 概 要：技能検定員資格者証の交付（審査により判断する場合以外の場合）</p>	<p>処 分 の 概 要：技能検定員資格者証の交付（審査により判断する場合以外の場合）</p>	
<p>原権者（委任先）：千葉県公安委員会</p>	<p>原権者（委任先）：千葉県公安委員会</p>	
<p>法 令 の 定 め：道路交通法第99条の2第4項（技能検定員） 技能検定員審査等に関する規則第4条（技能検定員審査の審査方法等）、第6条（技能検定員審査に合格した者等と同等以上の技能及び知識を有すると認める者としての認定）、第7条（技能検定員資格者証の交付等）</p>	<p>法 令 の 定 め：道路交通法第99条の2第4項（技能検定員） 技能検定員審査等に関する規則第4条（技能検定員審査の審査方法等）、第6条（技能検定員審査に合格した者等と同等以上の技能及び知識を有すると認める者としての認定）、第7条（技能検定員資格者証の交付等）</p>	
<p>審 査 基 準：技能検定員資格者証の交付の基準は、別紙のとおり。</p>	<p>審 査 基 準：技能検定員資格者証の交付の基準は、別紙のとおり。</p>	
<p>標 準 処 理 期 間：7日</p>	<p>標 準 処 理 期 間：7日</p>	
<p>申 請 先：交通部運転免許本部運転教育課</p>	<p>申 請 先：交通部運転免許本部運転教育課</p>	
<p>問 い 合 せ 先：交通部運転免許本部運転教育課 教習所指導係（043-274-2000）</p>	<p>問 い 合 せ 先：交通部運転免許本部運転教育課 教習所指導係（043-274-2000）</p>	
<p>備 考：</p>	<p>備 考：</p>	

改正後	改正前	備考
<p>別紙</p> <p>都道府県公安委員会（以下「公安委員会」という。）は、道路交通法（以下「法」という。）第99条の2第4項の各号のいずれにも該当する者に対し、技能検定員資格者証を交付する。</p> <p>〔1 略〕</p> <p>2 法第99条の2第4項第2号口関係 法第99条の2第4項第2号口の「卒業証明書又は修了証明書の発行に関し不正な行為」とは、卒業証明書等を偽造する行為、技能検定の職務に関し収賄する行為等の刑罰法令に触れる行為や道路交通法施行規則第34条に違反して技能検定をする行為等卒業証明書等の発行に関連する違法な行為をいう。ただし、違法行為をしたことについてその認識がなかった場合（例えば、<u>免許証等</u>の更新をせず、失効したことに気付かずに教習に従事した場合等）は、直ちに「不正な行為」に該当することとはならない。</p>	<p>別紙</p> <p>都道府県公安委員会（以下「公安委員会」という。）は、道路交通法（以下「法」という。）第99条の2第4項の各号のいずれにも該当する者に対し、技能検定員資格者証を交付する。</p> <p>〔1 略〕</p> <p>2 法第99条の2第4項第2号口関係 法第99条の2第4項第2号口の「卒業証明書又は修了証明書の発行に関し不正な行為」とは、卒業証明書等を偽造する行為、技能検定の職務に関し収賄する行為等の刑罰法令に触れる行為や道路交通法施行規則第34条に違反して技能検定をする行為等卒業証明書等の発行に関連する違法な行為をいう。ただし、違法行為をしたことについてその認識がなかった場合（例えば、<u>免許証</u>の更新をせず、失効したことに気付かずに教習に従事した場合等）は、直ちに「不正な行為」に該当することとはならない。</p>	<p>「等」を追加</p>

新旧対照表

○ 道路交通法等の改正等に係る審査基準

(赤文字及び下線部分は改正部分)

改正後	改正前	備考
<p style="text-align: center;">審 査 基 準</p> <p style="text-align: right;">令和7年3月24日作成</p>	<p style="text-align: center;">審 査 基 準</p> <p style="text-align: right;">令和5年4月1日作成</p>	
<p>法 令 名：道路交通法</p>	<p>法 令 名：道路交通法</p>	
<p>根 拠 条 項：第99条の3第4項</p>	<p>根 拠 条 項：第99条の3第4項</p>	
<p>処 分 の 概 要：教習指導員資格者証の交付（審査により判断する場合以外の場合）</p>	<p>処 分 の 概 要：教習指導員資格者証の交付（審査により判断する場合以外の場合）</p>	
<p>原権者（委任先）：千葉県公安委員会</p>	<p>原権者（委任先）：千葉県公安委員会</p>	
<p>法 令 の 定 め：道路交通法第99条の3第4項（教習指導員） 技能検定員審査等に関する規則第12条（教習指導員審査の審査方法等）、第14条（教習指導員審査に合格した者等と同等以上の技能及び知識がある者と認める者としての認定）、第15条（教習指導員資格者証の交付等）</p>	<p>法 令 の 定 め：道路交通法第99条の3第4項（教習指導員） 技能検定員審査等に関する規則第12条（教習指導員審査の審査方法等）、第14条（教習指導員審査に合格した者等と同等以上の技能及び知識がある者と認める者としての認定）、第15条（教習指導員資格者証の交付等）</p>	
<p>審 査 基 準：教習指導員資格者証の交付の基準は、別紙のとおり</p>	<p>審 査 基 準：教習指導員資格者証の交付の基準は、別紙のとおり</p>	
<p>標 準 処 理 期 間：7日</p>	<p>標 準 処 理 期 間：7日</p>	
<p>申 請 先：交通部運転免許本部運転教育課</p>	<p>申 請 先：交通部運転免許本部運転教育課</p>	
<p>問 い 合 せ 先：交通部運転免許本部運転教育課 教習所指導係（043-274-2000）</p>	<p>問 い 合 せ 先：交通部運転免許本部運転教育課 教習所指導係（043-274-2000）</p>	
<p>備 考：</p>	<p>備 考：</p>	

改正後	改正前	備考
<p>別紙</p> <p>都道府県公安委員会（以下「公安委員会」という。）は、道路交通法（以下「法」という。）第99条の3第4項の各号のいずれにも該当する者に対し、教習指導員資格者証を交付する。</p> <p>〔1 略〕</p> <p>2 法第99条の3第4項第2号ハ関係 法第99条の2第4項第2号ロの「卒業証明書又は修了証明書の発行に関し不正な行為」とは、道路交通法施行規則第33条の教習の時間及び方法に関する基準に違反する行為（例えば、無資格教習、教習時限の欠略、教習時限の時間短縮等）等卒業証明書等の発行に関連する違法な行為をいう。ただし、違法行為をしたことについてその者に認識がなかった場合（例えば、<u>免許証等</u>の更新をせず、失効したことに気付かずに教習に従事した場合等）は、直ちに「不正な行為」に該当することとはならない。</p>	<p>別紙</p> <p>都道府県公安委員会（以下「公安委員会」という。）は、道路交通法（以下「法」という。）第99条の3第4項の各号のいずれにも該当する者に対し、教習指導員資格者証を交付する。</p> <p>〔1 略〕</p> <p>2 法第99条の3第4項第2号ハ関係 法第99条の2第4項第2号ロの「卒業証明書又は修了証明書の発行に関し不正な行為」とは、道路交通法施行規則第33条の教習の時間及び方法に関する基準に違反する行為（例えば、無資格教習、教習時限の欠略、教習時限の時間短縮等）等卒業証明書等の発行に関連する違法な行為をいう。ただし、違法行為をしたことについてその者に認識がなかった場合（例えば、<u>免許証</u>の更新をせず、失効したことに気付かずに教習に従事した場合等）は、直ちに「不正な行為」に該当することとはならない。</p>	<p>「等」を追加</p>

改正後	改正前	備考

○ 審査基準及び処分基準の別紙

(赤文字及び下線部分は改正部分)

改正後	改正前	備考
<p style="text-align: center;">審 査 基 準</p> <p style="text-align: right; color: red;">令和7年3月24日作成</p> <hr/> <p>法 令 名：道路交通法</p> <hr/> <p>根 拠 条 項：第108条の4第1項</p> <hr/> <p>処 分 の 概 要：指定講習機関の指定</p> <hr/> <p>原権者（委任先）：千葉県公安委員会</p> <hr/> <p>法 令 の 定 め：道路交通法第108条の4第1項、第2項及び第3項（指定講習機関）</p> <p style="padding-left: 2em;">指定講習機関に関する規則第1条（指定講習機関の指定）、第2条（指定の申請）、第5条（運転適性指導員）、第6条（取消処分者講習を行う指定講習機関の基準）、第7条（運転習熟指導員）、第8条（初心運転者講習を行う指定講習機関の基準）、第8条の2（若年運転者講習を行う指定講習機関の基準）</p> <hr/> <p>審 査 基 準：指定講習機関の指定の基準は、別紙のとおり。</p> <hr/> <p>標 準 処 理 期 間：14日</p> <hr/> <p>申 請 先：交通部運転免許本部運転教育課</p> <hr/> <p>問 い 合 わ せ 先：交通部運転免許本部運転教育課 初心運転者講習係・取消処分者講習係 (043-274-2000)</p> <hr/> <p>備 考：</p>	<p style="text-align: center;">審 査 基 準</p> <p style="text-align: right; color: red;">令和5年4月1日作成</p> <hr/> <p>法 令 名：道路交通法 <u>(5-28)</u></p> <hr/> <p>根 拠 条 項：第108条の4第1項</p> <hr/> <p>処 分 の 概 要：指定講習機関の指定</p> <hr/> <p>原権者（委任先）：千葉県公安委員会</p> <hr/> <p>法 令 の 定 め：道路交通法第108条の4第1項、第2項及び第3項（指定講習機関）</p> <p style="padding-left: 2em;">指定講習機関に関する規則第1条（指定講習機関の指定）、第2条（指定の申請）、第5条（運転適性指導員）、第6条（取消処分者講習を行う指定講習機関の基準）、第7条（運転習熟指導員）、第8条（初心運転者講習を行う指定講習機関の基準）、第8条の2（若年運転者講習を行う指定講習機関の基準）</p> <hr/> <p>審 査 基 準：指定講習機関の指定の基準は、別紙のとおり。</p> <hr/> <p>標 準 処 理 期 間：14日</p> <hr/> <p>申 請 先：交通部運転免許本部運転教育課</p> <hr/> <p>問 い 合 わ せ 先：交通部運転免許本部運転教育課 初心運転者講習係・取消処分者講習係 (043-274-2000)</p> <hr/> <p>備 考：</p>	

改正後	改正前	備考
<p>別紙</p> <p><u>千葉県</u>公安委員会（以下「公安委員会」という。）は、道路交通法（以下「法」という。）第108条の4第1項各号に掲げる講習ごとに、<u>当該</u>各号に定める要件に該当すると認められるものを指定講習機関として指定する。</p> <p>1 法第108条の2第1項第2号に掲げる講習（以下「取消処分者講習」という。）</p> <p>(1) 運転適性指導員関係</p> <p>取消処分者講習を行う指定講習機関が置くこととされている運転適性指導員の要件については、指定講習機関に関する規則（以下「規則」という。）第5条に規定されているが、このうち、同条第4号の「運転適性指導に従事した経験の期間が3年以上の者」とは、自動車等の運転に必要な適性に関する調査及びこれに基づく指導に3年以上従事した者を、同条第5号の「国家公安委員会が指定する運転適性指導についての技能及び知識に関する講習」とは、物的、人的両面において高度な水準にある教育研究施設における講習の<u>課程</u>で国家公安委員会が指定するもの（自動車安全運転センターが実施する「新任運転適性指導員研修」<u>又は「取消処分者講習指導員（一般）研修」</u>）をいう。</p> <p>また、同号の「公安委員会が行う運転適性指導についての技能及び知識に関する審査」とは、別添1に掲げる審査要領により行うものとする。</p> <p>(2) (略)</p> <p>2 法第108条の2第1項第10号に掲げる講習（以下「初心運転者講習」という。）</p> <p>(1) 運転習熟指導員関係</p> <p>初心運転者講習を行う指定講習機関が置くこととされている運転習熟指導員の要件については、規則第7条に規定されているが、このうち、同条第5号の「公安委員会が行う運転習熟指導についての技能及び知識に関する審査」は、従事することとなる初心運転者講習の種類（準中型免許、普通免許、大型二</p>	<p>別紙</p> <p><u>都道府</u>県公安委員会（以下「公安委員会」という。）は、道路交通法（以下「法」という。）第108条の4第1項各号に掲げる講習ごとに、<u>同項</u>各号に定める要件に該当すると認められるものを指定講習機関として指定する。</p> <p>1 法第108条の2第1項第2号に掲げる講習（以下「取消処分者講習」という。）</p> <p>(1) 運転適性指導員関係</p> <p>取消処分者講習を行う指定講習機関が置くこととされている運転適性指導員の要件については、指定講習機関に関する規則（以下「規則」という。）第5条に規定されているが、このうち、同条第4号の「運転適性指導に従事した経験の期間が3年以上の者」とは、自動車等の運転に必要な適性に関する調査及びこれに基づく指導に3年以上従事した者を、同条第5号の「国家公安委員会が指定する運転適性指導についての技能及び知識に関する講習」とは、物的、人的両面において高度な水準にある教育研究施設における講習の<u>過程</u>で国家公安委員会が指定するもの（自動車安全運転センターが実施する「新任運転適性指導員研修」）をいう。</p> <p>また、同号の「公安委員会が行う運転適性指導についての技能及び知識に関する審査」とは、別添1に掲げる審査要領により行うものとする。</p> <p>(2) (略)</p> <p>2 法第108条の2第1項第10号に掲げる講習（以下「初心運転者講習」という。）</p> <p>(1) 運転習熟指導員関係</p> <p>初心運転者講習を行う指定講習機関が置くこととされている運転習熟指導員の要件については、規則第7条に規定されているが、このうち、同条第5号の「公安委員会が行う運転習熟指導についての技能及び知識に関する審査」は、従事することとなる初心運転者講習の種類（準中型免許、普通免許、大型二</p>	<p>本県用に修正</p> <p>用語の整理（警察庁モデル基準に合わせる。）</p> <p>用語の整理（警察庁モデル基準に合わせる。）</p> <p>講習の追加（警察庁モデル基準に合わせる。）</p>

改正後	改正前	備考
<p>輪免許、普通二輪免許（原付免許を含む。））ごとに、別添2の左欄に掲げる審査項目に応じ、それぞれ同表の中欄に掲げる審査細目について、同表の右欄に掲げる審査方法等により行うものとする。審査を受けようとする者が過去6か月以内に審査細目の一部に合格している場合は、合格に係る審査細目を免除するものとする。</p> <p>また、「国家公安委員会が指定する運転習熟指導についての技能及び知識に関する講習」とは、物的、人的両面において高度な水準にある教育研究施設における講習の<u>課程</u>で国家公安委員会が指定するもの（自動車安全運転センターが実施する「新任運転習熟指導員研修」）をいう。</p> <p>(2) 指定の基準関係 (略)</p> <p>3 法第108条の2第1項第14号に掲げる講習（以下「若年運転者講習」という。）</p> <p>(1) 運転適性指導員関係</p> <p>若年運転者講習を行う指定講習機関が置くこととされている運転適性指導員の要件については、<u>前記1(1)の取消処分者講習を行う指定講習機関が置くこととされている運転適性指導員の要件と同じとする。</u></p> <p>(2) 指定の基準関係 (略)</p> <p>別添1</p> <p>1 審査等</p>	<p>輪免許、普通二輪免許（原付免許を含む。））ごとに、別添2の左欄に掲げる審査項目に応じ、それぞれ同表の中欄に掲げる審査細目について、同表の右欄に掲げる審査方法等により行うものとする。審査を受けようとする者が過去6か月以内に審査細目の一部に合格している場合は、合格に係る審査細目を免除するものとする。</p> <p>また、「国家公安委員会が指定する運転習熟指導についての技能及び知識に関する講習」とは、物的、人的両面において高度な水準にある教育研究施設における講習の<u>過程</u>で国家公安委員会が指定するもの（自動車安全運転センターが実施する「新任運転習熟指導員研修」）をいう。</p> <p>(2) 指定の基準関係 (略)</p> <p>3 法第108条の2第1項第14号に掲げる講習（以下「若年運転者講習」という。）</p> <p>(1) 運転適性指導員関係</p> <p>若年運転者講習を行う指定講習機関が置くこととされている運転適性指導員の要件については、<u>指定講習機関に関する規則（以下「規則」という。）第5条に規定されているが、このうち、同第4号の「運転適性指導に従事した経験の期間が3年以上の者」とは、自動車等の運転に必要な適性に関する調査及びこれに基づく指導に3年以上従事した者を、同条第5号の「国家公安委員会が指定する運転適性指導についての技能及び知識に関する講習」とは、物的、人的両面において高度な水準にある教育研究施設における講習の<u>過程</u>で国家公安委員会が指定するもの（自動車安全運転センターが実施する「新任運転適性指導員研修」）をいう。</u></p> <p><u>また、同号の「公安委員会が行う運転適性指導についての技能及び知識に関する審査」とは、別添1に掲げる審査要領により行うものとする。</u></p> <p>(2) 指定の基準関係 (略)</p> <p>別添1</p> <p>1 審査等<u>の方針</u></p>	<p>備考</p> <p>1 (1) に同じ。係で修正。</p> <p>用語の整理（警察庁モデル基準に合わせる。）</p> <p>用語の整理（警察庁モデ</p>

改正後	改正前	備考
<p>取消処分者講習又は若年運転者講習（以下「講習」という。）を行う指定講習機関（以下単に「指定講習機関」という。）については、道路交通法第108条の4第1項第1号又は第3号の規定により、規則第5条各号に<u>掲げる</u>要件に該当する運転適性指導員（以下単に「指導員」という。）が置かれていることが指定の要件となっており、同条第5号に<u>おいては</u>、公安委員会が行う審査に合格した者又は国家公安委員会が指定する講習を終了した者であることが指導員の要件として定められている。</p> <p>指定講習機関については、運転適性指導の内容の専門性、全国的な平準化の必要性等に鑑み、国家公安委員会が指定した講習（自動車安全運転センターにおける「新任運転適性指導員研修」又は「取消処分者講習指導員（一般）研修」）を終了した者を指導員として置くことを原則として、指導員の育成を推進していくこととするが、公安委員会が行う指導員の審査については、以下の要領に基づき実施するものとする。</p> <p>2 審査要領</p> <p>(1) 審査対象</p> <p>運転適性指導の内容の<u>専門性</u>に鑑み、審査は、原則として、次の<u>アからウまで</u>のいずれかに該当する者を対象として行うものとする。</p> <p>ア <u>別に定める通達</u>に基づく運転適性検査・指導員資格者証の交付を受け、講習の講習指導員として従事した経験のある者（従事した期間が3年以上で、従事した期間から5年を経過していない者に限る。）</p> <p>イ <u>停止処分者講習、高齢者講習又は違反者講習</u>の講習指導員として従事した経験のある者（従事した期間が通算5年以上で、従事した期間から5年を経過していない者に限る。）で、新任運転適性指導員研修又は取消処分者講習指</p>	<p>取消処分者講習又は若年運転者講習（以下「講習」という。）を行う指定講習機関（以下単に「指定講習機関」という。）については、道路交通法第108条の4第1項第1号又は第3号の規定により、規則第5条各号<u>の</u>要件に該当する運転適性指導員（以下単に「指導員」という。）が置かれていることが指定の要件となっており、同条第5号に<u>おいて</u>、公安委員会が行う審査に合格した者又は国家公安委員会が指定する講習を終了した者であることが指導員の要件として定められている。</p> <p>指定講習機関については、運転適性指導の内容の専門性、全国的な平準化の必要性等に鑑み、国家公安委員会が指定した講習（自動車安全運転センターにおける「新任運転適性指導員研修」又は「取消処分者講習指導員（一般）研修」）を終了した者を指導員として置くことを原則として、指導員の育成を推進していくこととするが、公安委員会が行う指導員の審査については、以下の要領に基づき実施するものとする。</p> <p>2 審査要領</p> <p>(1) 審査対象</p> <p>運転適性指導の内容の<u>特殊性等</u>に鑑み、審査は、原則として、次の<u>各号</u>のいずれかに該当する者を対象として行うものとする。</p> <p>ア <u>「性格等に関する運転適性検査の積極的な活用について（通達）」（平成31年3月27日付け警察庁丙運発第11号ほか）</u>に基づく運転適性検査・指導者資格者証の交付を受け、講習の講習指導員として従事した経験のある者（従事した期間が通算3年以上で、従事した期間から5年を経過していない者に限る。）</p> <p>イ <u>停止処分者講習等</u>の講習指導員として従事した経験のある者（従事した期間が通算5年以上で、従事した期間から5年を経過していない者に限る。）で、新任運転適性指導員研修又は取消処分者講習指導員（一般）研修と同程度の</p>	<p>ル基準に合わせる。)</p> <p>用語の整理(警察庁モデル基準に合わせる。)</p> <p>用語の整理(警察庁モデル基準に合わせる。)</p> <p>用語の整理(警察庁モデル基準に合わせる。)</p> <p>等の明確化(警察庁モデル基準に合わせる。)</p>

改正後	改正前	備考
<p> 導員（一般）研修と同程度の研修を受け、運転適性指導についての十分な技能及び知識があると認められる者 <u>ウ 運転適性指導について、ア又はイに掲げる者と同等以上の技能、知識及び経験を有すると認められる者</u> </p> <p> (2)、(3) (略) (4) 合格証の交付 審査に合格した者に対しては、別記様式の「運転適性指導員審査合格証書」を交付するとともに、合格者名簿等に合格者の氏名等を記載しておく<u>ものとする</u>。 </p> <p> 3 審査実施上の留意事項等 (1)、(2) (略) (3) 合格者に対する教養 審査の合格者に対しては、講習の現状、内容等について必要な教養を行うこと。 特に、講習指導員として従事した期間から3年以上経過している合格者に対しては、<u>別に定める通達</u>に基づき実務実習を行うこと。 </p> <p> 別記様式 (略) 別添2 (略) </p>	<p> 研修を受け、運転適性指導についての十分な技能及び知識があると認められる者 (新設) </p> <p> (2)、(3) (略) (4) 合格証の交付 審査に合格した者に対しては、別記様式の「運転適性指導員審査合格証書」を交付するとともに、合格者名簿等に合格者の氏名等を記載しておく。 </p> <p> 3 審査実施上の留意事項等 (1)、(2) (略) (3) 合格者に対する教養 審査の合格者に対しては、講習の現状、内容等について必要な教養を行うこと。 特に、講習指導員として従事した期間から3年以上経過している合格者に対しては、<u>「新任運転適性指導員研修の終了者等に対する実務実習等について」(平成31年3月22日警察庁丁運発第55号)</u>に基づき実務実習を行うこと。 <u>なお、若年運転者講習に限って従事する運転適性指導員は、上記実務実習を受ける必要はない。</u> </p> <p> 別記様式 (略) 別添2 (略) </p>	<p> 審査対象者の新規追加 (警察庁モデル基準に合わせる。) </p> <p> 用語の整理(警察庁モデル基準に合わせる。) </p> <p> 用語の整理(警察庁モデル基準に合わせる。) </p> <p> 不要なお書きの削除 (警察庁モデル基準に合わせる。) </p>

新旧対照表

○ 道路交通法等の改正等に係る審査基準

(赤文字及び下線部分は改正部分)

改正後	改正前	備考
<p style="text-align: center;">審 査 基 準</p> <p style="text-align: right;">令和7年<u>3</u>月<u>24</u>日作成</p>	<p style="text-align: center;">審 査 基 準</p> <p style="text-align: right;">令和7年<u>2</u>月<u>5</u>日作成</p>	
<p>法 令 名：道路交通法</p>	<p>法 令 名：道路交通法</p>	
<p>根 拠 条 項：第108条の32の2第1項</p>	<p>根 拠 条 項：第108条の32の2第1項</p>	
<p>処 分 の 概 要：運転免許取得者等教育の認定</p>	<p>処 分 の 概 要：運転免許取得者等教育の認定</p>	
<p>原権者（委任先）：千葉県公安委員会</p>	<p>原権者（委任先）：千葉県公安委員会</p>	
<p>法 令 の 定 め：道路交通法第108条の32の2第1項（運転免許取得者等教育の認定） 運転免許取得者等教育の認定に関する規則第1条（課程の区分）、 第2条（運転免許取得者等教育指導員）、第3条（設備）、第4条（課 程の基準）及び第5条（認定の申請）</p>	<p>法 令 の 定 め：道路交通法第108条の32の2第1項（運転免許取得者等教育の認定） 運転免許取得者等教育の認定に関する規則第1条（課程の区分）、 第2条（運転免許取得者等教育指導員）、第3条（設備）、第4条（課 程の基準）及び第5条（認定の申請）</p>	
<p>審 査 基 準：運転免許取得者等教育の認定の基準は、別紙1及び別紙2のとおり。</p>	<p>審 査 基 準：運転免許取得者等教育の認定の基準は、別紙1及び別紙2のとおり。</p>	
<p>標 準 処 理 期 間：14日</p>	<p>標 準 処 理 期 間：14日</p>	
<p>申 請 先：交通部運転免許本部運転教育課</p>	<p>申 請 先：交通部運転免許本部運転教育課</p>	
<p>問 い 合 わ せ 先：交通部運転免許本部運転教育課 教習所指導係（043-274-2000）</p>	<p>問 い 合 わ せ 先：交通部運転免許本部運転教育課 教習所指導係（043-274-2000）</p>	
<p>備 考：</p>	<p>備 考：</p>	

改正後	改正前	備考
<p>[別紙1 略]</p> <p>別紙2</p> <p>1 認定の審査 認定教育規則第1条第6号に掲げる課程（以下「更新時講習同等課程」という。）又は同条第3号に掲げる課程（以下「高齢者講習同等課程」という。）の認定の審査に当たっては、「運転免許取得者等教育及び運転免許取得者等検査の認定制度の運用について」（令和7年2月28日付け警察庁丙運発第6号、丙交企発第17号）第1の1(1)のほか、以下について留意すること。</p> <p>[(1)～(2) 略]</p> <p>(3) 課程の基準の適合性 ア 更新時講習同等課程 認定の審査に当たっては、当該課程の内容が「更新時講習の運用について」（令和7年3月3日付け警察庁丙運発第27号）及び「更新時講習の運用に関する細目について」（令和7年3月3日付け警察庁丁運発第71号）に準拠しており、更新時講習（道路交通法（昭和35年法律第105号。以下「法」という。）第108条の2第1項第11号に掲げる講習をいう。）と同等以上になっているかどうかについて判断すること。</p> <p>イ 高齢者講習同等課程 認定の審査に当たっては、当該課程の内容が「高齢者講習の運用について」（令和7年3月3日付け警察庁丙運発第22号。以下「高齢者講習運用通達」という。）及び「高齢者講習の運用に関する細目について」（令和7年3月3日付け警察庁丁運発第68号）に準拠しており、高齢者講習（法第108条の2第1項第12号に掲げる講習をいう。）と同等以上になっているかどうかについて判断すること。 この場合において、高齢者講習運用通達に定める「実車による指導」に相当する教育事項については、次のいずれにも</p>	<p>[別紙1 略]</p> <p>別紙2</p> <p>1 認定の審査 認定教育規則第1条第6号に掲げる課程（以下「更新時講習同等課程」という。）又は同条第3号に掲げる課程（以下「高齢者講習同等課程」という。）の認定の審査に当たっては、「運転免許取得者等教育及び運転免許取得者等検査の認定制度の運用について」（令和4年3月2日付け警察庁丙運発第4号、丙交企発第26号）第1の1(1)のほか、以下について留意すること。</p> <p>[(1)～(2) 略]</p> <p>(3) 課程の基準の適合性 ア 更新時講習同等課程 認定の審査に当たっては、当該課程の内容が「更新時講習の運用について」（平成27年3月30日付け警察庁丙運発第12号）及び「更新時講習の運用に関する細目について」（令和2年4月1日付け警察庁丁運発第53号）に準拠しており、更新時講習（<u>道路交通法の一部を改正する法律（令和2年法律第42号。以下「改正法」という。）による改正後の</u>道路交通法（昭和35年法律第105号。以下「法」という。）第108条の2第1項第11号に掲げる講習をいう。）と同等以上になっているかどうかについて判断すること。</p> <p>イ 高齢者講習同等課程 認定の審査に当たっては、当該課程の内容が「高齢者講習の運用について」（令和4年9月26日付け警察庁丙運発第31号。以下「高齢者講習運用通達」という。）及び「高齢者講習の運用に関する細目について」（令和4年3月2日付け警察庁丁運発第48号）に準拠しており、高齢者講習（法第108条の2第1項第12号に掲げる講習をいう。）と同等以上になっているかどうかについて判断すること。 この場合において、高齢者講習運用通達に定める「実車に</p>	<p></p> <p>通達の発出日等を改正</p> <p>通達の発出日等を改正</p> <p>「道路交通法の一部を改正する法律（令和2年法律第42号。以下「改正法」という。）による改正後の」を削除</p>

改正後	改正前	備考
<p>該当している必要があることに留意すること。</p> <p>(ア) ならし走行を含め、受講者1人当たり少なくとも20分間行われること。</p> <p>(イ) 受講者1人当たりの走行時間（ならし走行を除く。）がおおむね10分間以上となるよう、1,200メートル以上（ならし走行を除く。）走行させて行われること。</p> <p>ウ 指定の要件 認定教育規則第4条第2項第4号の「第1条第3号に掲げる課程に係る業務を適正かつ確実に行うことができる者として公安委員会が指定する者」に該当するかどうかについては、別添に定める指定基準に基づき、判断すること。</p> <p>[2～3 略]</p> <p>[別添 略]</p> <p>[別記様式第1号～第3号 略]</p>	<p>よる指導」に相当する教育事項については、次のいずれにも該当している必要があることに留意すること。</p> <p>(ア) ならし走行を含め、受講者1人当たり少なくとも20分間行われること。</p> <p>(イ) 受講者1人当たりの走行時間（ならし走行を除く。）がおおむね10分間以上となるよう、1,200メートル以上（ならし走行を除く。）走行させて行われること。</p> <p>ウ 指定の要件 認定教育規則第4条第2項第4号の「第1条第3号に掲げる課程に係る業務を適正かつ確実に行うことができる者として公安委員会が指定する者」に該当するかどうかについては、別添に定める指定基準に基づき、判断すること。</p> <p>[2～3 略]</p> <p>[別添 略]</p> <p>[別記様式第1号～第3号 略]</p>	

新旧対照表

○ 道路交通法等の改正等に係る審査基準

(赤文字及び下線部分は改正部分)

改正後	改正前	備考
<p style="text-align: center;">審 査 基 準</p> <p style="text-align: right;">令和7年3月24日作成</p>	<p style="text-align: center;">審 査 基 準</p> <p style="text-align: right;">令和5年4月1日作成</p>	
<p>法 令 名：道路交通法</p>	<p>法 令 名：道路交通法</p>	
<p>根 拠 条 項：第108条の32の3第1項</p>	<p>根 拠 条 項：第108条の32の3第1項</p>	
<p>処 分 の 概 要：運転免許取得者等検査の認定</p>	<p>処 分 の 概 要：運転免許取得者等検査の認定</p>	
<p>原権者（委任先）：千葉県公安委員会</p>	<p>原権者（委任先）：千葉県公安委員会</p>	
<p>法 令 の 定 め：道路交通法第108条の32の3第1項（運転免許取得者等検査の認定） 運転免許取得者等検査の認定に関する規則第1条（方法の区分）、 第2条（運転免許取得者等検査員）、第3条（設備）、第4条（方法の基準）及び第6条（認定の申請）</p>	<p>法 令 の 定 め：道路交通法第108条の32の3第1項（運転免許取得者等検査の認定） 運転免許取得者等検査の認定に関する規則第1条（方法の区分）、 第2条（運転免許取得者等検査員）、第3条（設備）、第4条（方法の基準）及び第6条（認定の申請）</p>	
<p>審 査 基 準：運転免許取得者等検査の認定の基準は、別紙1及び別紙2のとおり。</p>	<p>審 査 基 準：運転免許取得者等検査の認定の基準は、別紙1及び別紙2のとおり。</p>	
<p>標 準 処 理 期 間：14日</p>	<p>標 準 処 理 期 間：14日</p>	
<p>申 請 先：交通部運転免許本部運転教育課</p>	<p>申 請 先：交通部運転免許本部運転教育課</p>	
<p>問 い 合 わ せ 先：交通部運転免許本部運転教育課 教習所指導係（043-274-2000）</p>	<p>問 い 合 わ せ 先：交通部運転免許本部運転教育課 教習所指導係（043-274-2000）</p>	
<p>備 考：</p>	<p>備 考：</p>	

改正後	改正前	備考
<p>別紙 1</p> <p>1 認定の審査 運転免許取得者等検査の認定に関する規則（令和4年国家公安委員会規則第8号。以下「認定検査規則」という。）第1条第1号に掲げる方法により行う運転免許取得者等検査（以下「認知機能検査同等方法」という。）の認定の審査に当たっては、以下について留意すること。</p> <p>〔(1)～(2) 略〕</p> <p>(3) 方法の基準の適合性 認定の審査に当たっては、当該検査の方法が「認知機能検査の運用について」（令和7年2月28日付け警察庁丙運発第28号。以下「認知機能検査運用通達」という。）及び「認知機能検査の実施要領について」（令和7年2月28日付け警察庁丁運発第72号）に準拠しており、道路交通法（昭和35年法律第105号。以下「法」という。）第97条の2第1項第3号イに規定する認知機能検査と同等以上になっているかどうかについて判断すること。</p> <p>また、認定検査規則第4条第1項第4号の「第1条第1号に掲げる方法により行う運転免許取得者等検査に係る業務を適正かつ確実にを行うことができる者として都道府県公安委員会が指定する者」に該当するかどうかについては、別添に定める指定基準に基づき、判断すること。</p> <p>〔2～3 略〕</p> <p>〔別添 略〕</p> <p>〔別記様式第1号～第3号 略〕</p>	<p>別紙 1</p> <p>1 認定の審査 運転免許取得者等検査の認定に関する規則（令和4年国家公安委員会規則第8号。以下「認定検査規則」という。）第1条第1号に掲げる方法により行う運転免許取得者等検査（以下「認知機能検査同等方法」という。）の認定の審査に当たっては、以下について留意すること。</p> <p>〔(1)～(2) 略〕</p> <p>(3) 方法の基準の適合性 認定の審査に当たっては、当該検査の方法が「認知機能検査の運用について」（令和4年3月2日付け警察庁丙運発第10号。以下「認知機能検査運用通達」という。）及び「認知機能検査の実施要領について」（令和4年3月2日付け警察庁丁運発第47号）に準拠しており、<u>道路交通法の一部を改正する法律（令和2年法律第42号）による改正後の</u>道路交通法（昭和35年法律第105号。以下「法」という。）第97条の2第1項第3号イに規定する認知機能検査と同等以上になっているかどうかについて判断すること。</p> <p>また、認定検査規則第4条第1項第4号の「第1条第1号に掲げる方法により行う運転免許取得者等検査に係る業務を適正かつ確実にを行うことができる者として都道府県公安委員会が指定する者」に該当するかどうかについては、別添に定める指定基準に基づき、判断すること。</p> <p>〔2～3 略〕</p> <p>〔別添 略〕</p> <p>〔別記様式第1号～第3号 略〕</p>	<p>通達の発出日等を改正</p> <p>「道路交通法の一部を改正する法律（令和2年法律第42号。以下「改正法」という。）による改正後の」を削除</p>

改正後	改正前	備考
<p>別記様式第4号</p> <p style="text-align: center;">認定認知機能検査結果通知書</p> <p>住 所 氏 名 生 年 月 日 検査年月日 検査場所</p> <p style="text-align: right;">総合点 <input type="text"/> 点 (A 点) (B 点)</p> <p>記憶力・判断力が低くなっており、認知症のおそれがあります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>記憶力・判断力が低下すると、信号無視や一時不停止の違反をしたり、進路変更の合図が遅れたりする傾向がみられます。 今後の運転について十分注意するとともに、医師やご家族にご相談されることをお勧めします。 また、臨時適性検査（専門医による診断）を受け、又は医師の診断書を提出していただくお知らせが公安委員会からあります。 この診断の結果、認知症であることが判明したときは、運転免許の取消し、停止という行政処分の対象となります。</p> </div> <p style="color: red;">運転免許証等の更新手続の際は、この書面を必ず持参してください。</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p style="text-align: right;">所在地 名 称 管理者 印</p>	<p>別記様式第4号</p> <p style="text-align: center;">認定認知機能検査結果通知書</p> <p>住 所 氏 名 生 年 月 日 検査年月日 検査場所</p> <p style="text-align: right;">総合点 <input type="text"/> 点 (A 点) (B 点)</p> <p>記憶力・判断力が低くなっており、認知症のおそれがあります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>記憶力・判断力が低下すると、信号無視や一時不停止の違反をしたり、進路変更の合図が遅れたりする傾向がみられます。 今後の運転について十分注意するとともに、医師やご家族にご相談されることをお勧めします。 また、臨時適性検査（専門医による診断）を受け、又は医師の診断書を提出していただくお知らせが公安委員会からあります。 この診断の結果、認知症であることが判明したときは、運転免許の取消し、停止という行政処分の対象となります。</p> </div> <p style="color: red;">運転免許証の更新手続の際は、この書面を必ず持参してください。</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p style="text-align: right;">所在地 名 称 管理者 印</p>	<p>備考</p> <p style="text-align: center;">「等」を追加</p>

改正後	改正前	備考
<p>別記様式第4号</p> <p style="text-align: center;">認定認知機能検査結果通知書</p> <p>住 所 氏 名 生 年 月 日 検 査 年 月 日 検 査 場 所</p> <p>「認知症のおそれがある」基準には該当しませんでした。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>今回の結果は、記憶力、判断力の低下がないことを意味するものではありません。</p> <p>個人差はありますが、加齢により認知機能や身体機能が変化することから、自分自身の状態を常に自覚して、それに応じた運転をすることが大切です。</p> <p>記憶力・判断力が低下すると、信号無視や一時不停止の違反をしたり、進路変更の合図が遅れたりする傾向がみられますので、今後の運転について十分注意してください。</p> </div> <p style="color: red;">運転免許証等の更新手続の際は、この書面を必ず持参してください。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p style="text-align: center;">所在地 名 称 管 理 者 印</p>	<p>別記様式第4号</p> <p style="text-align: center;">認定認知機能検査結果通知書</p> <p>住 所 氏 名 生 年 月 日 検 査 年 月 日 検 査 場 所</p> <p>「認知症のおそれがある」基準には該当しませんでした。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>今回の結果は、記憶力、判断力の低下がないことを意味するものではありません。</p> <p>個人差はありますが、加齢により認知機能や身体機能が変化することから、自分自身の状態を常に自覚して、それに応じた運転をすることが大切です。</p> <p>記憶力・判断力が低下すると、信号無視や一時不停止の違反をしたり、進路変更の合図が遅れたりする傾向がみられますので、今後の運転について十分注意してください。</p> </div> <p style="color: red;">運転免許証の更新手続の際は、この書面を必ず持参してください。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p style="text-align: center;">所在地 名 称 管 理 者 印</p>	<p>備考</p> <p style="text-align: right;">「等」を追加</p>

改正後

別記様式第4号

(裏面)

認定認知機能検査の判定や計算等について

総合点による判定

3.6点未満	記憶力・判断力が低くなっており、認知症のおそれがある。
--------	-----------------------------

判定の基準となる点数(36点)は、認知機能検査の結果と認知症専門医による診断結果との関係を統計的に分析して定められたものです。

認定認知機能検査は、あなたの記憶力、判断力の状況を簡易な検査によって確認するもので、認知症の診断を行うものではありません。

したがって、総合点が36点未満であったとしても、直ちに認知症であることを示すものではありません。また、36点以上であったとしても、必ずしも認知症でないことを示すものではありませんので、記憶力、判断力に不安のある方は、お近くの医療機関等で相談されることをお勧めします。

認知症のおそれがあるとされても、免許証等の更新をすることはできませんし、直ちに免許が取り消されるわけではありません。ただし、警察から連絡があり、医師の診断を受けることとなります。

認知症と診断された場合は、免許が取り消され、又は停止されます。今回の検査の結果について、御質問のある方は、認定認知機能検査を行ったところやお住まいの都道府県警察の運転免許担当課までお問い合わせください。

総合点の計算

総合点は、次の計算式に当てはめて算出しています。

正しい回答が多くなるにつれて総合点が高くなります。

総合点 = 2.499 × A + 1.336 × B

Aは、記憶した16種類のイラストの名前が正しく回答されているかどうかについての点数です。正しく回答すると点数がつかます。

Bは、「年」、「月」、「日」、「曜日」、「時刻」が正しく回答されているかどうかについての点数です。正しく回答すると点数がつかます。

改正前

別記様式第4号

(裏面)

認定認知機能検査の判定や計算等について

総合点による判定

3.6点未満	記憶力・判断力が低くなっており、認知症のおそれがある。
--------	-----------------------------

判定の基準となる点数(36点)は、認知機能検査の結果と認知症専門医による診断結果との関係を統計的に分析して定められたものです。

認定認知機能検査は、あなたの記憶力、判断力の状況を簡易な検査によって確認するもので、認知症の診断を行うものではありません。

したがって、総合点が36点未満であったとしても、直ちに認知症であることを示すものではありません。また、36点以上であったとしても、必ずしも認知症でないことを示すものではありませんので、記憶力、判断力に不安のある方は、お近くの医療機関等で相談されることをお勧めします。

認知症のおそれがあるとされても、免許証の更新をすることはできませんし、直ちに免許が取り消されるわけではありません。ただし、警察から連絡があり、医師の診断を受けることとなります。

認知症と診断された場合は、免許が取り消され、又は停止されます。今回の検査の結果について、御質問のある方は、認定認知機能検査を行ったところやお住まいの都道府県警察の運転免許担当課までお問い合わせください。

総合点の計算

総合点は、次の計算式に当てはめて算出しています。

正しい回答が多くなるにつれて総合点が高くなります。

総合点 = 2.499 × A + 1.336 × B

Aは、記憶した16種類のイラストの名前が正しく回答されているかどうかについての点数です。正しく回答すると点数がつかます。

Bは、「年」、「月」、「日」、「曜日」、「時刻」が正しく回答されているかどうかについての点数です。正しく回答すると点数がつかます。

「等」を追加

改正後	改正前	備考
<p>別紙 2</p> <p>1 認定の審査 認定検査規則第 1 条第 2 号に掲げる方法により行う運転免許取得者等検査（以下「運転技能検査同等方法」という。）の認定の審査に当たっては、以下について留意すること。</p> <p>〔(1)～(2) 略〕</p> <p>(3) 方法の基準の適合性 認定の審査に当たっては、当該検査の方法が「運転技能検査の運用について」（令和 7 年 3 月 3 日付け警察庁丙運発第 2 5 号。以下「運転技能検査運用通達」という。）及び「運転技能検査等実施要領の制定について」（令和 7 年 3 月 3 日付け警察庁丁運発第 69 号）に準拠しており、道路交通法（昭和 35 年法律第 105 号。以下「法」という。）第 97 条の 2 第 1 項第 3 号イに規定する運転技能検査と同等以上になっているかどうかについて判断すること。 この場合において、当該検査の方法については、次のいずれにも該当している必要があることに留意すること。 ア ならし走行を含め、受検者 1 人当たり少なくとも 20 分間行われること。 イ 受検者 1 人当たりの走行時間（ならし走行を除く。）がおおむね 10 分間以上となるよう、1,200 メートル以上（ならし走行を除く。）走行させて行われること。 また、認定検査規則第 4 条第 2 項第 4 号の「第 1 条第 2 号に掲げる方法により行う運転免許取得者等検査に係る業務を適正かつ確実にを行うことができる者として公安委員会が指定する者」に該当するかどうかについては、別添に定める指定基準に基づき、判断すること。</p> <p>〔2～3 略〕 〔別添 略〕 〔別記様式第 1 号～第 4 号 略〕</p>	<p>別紙 2</p> <p>1 認定の審査 認定検査規則第 1 条第 2 号に掲げる方法により行う運転免許取得者等検査（以下「運転技能検査同等方法」という。）の認定の審査に当たっては、以下について留意すること。</p> <p>〔(1)～(2) 略〕</p> <p>(3) 方法の基準の適合性 認定の審査に当たっては、当該検査の方法が「運転技能検査の運用について」（令和 4 年 3 月 2 日付け警察庁丙運発第 9 号。以下「運転技能検査運用通達」という。）及び「運転技能検査等実施要領の制定について」（令和 4 年 3 月 2 日付け警察庁丁運発第 50 号）に準拠しており、<u>道路交通法の一部を改正する法律（令和 2 年法律第 42 号）による改正後の</u>道路交通法（昭和 35 年法律第 105 号。以下「法」という。）第 97 条の 2 第 1 項第 3 号イに規定する運転技能検査と同等以上になっているかどうかについて判断すること。 この場合において、当該検査の方法については、次のいずれにも該当している必要があることに留意すること。 ア ならし走行を含め、受検者 1 人当たり少なくとも 20 分間行われること。 イ 受検者 1 人当たりの走行時間（ならし走行を除く。）がおおむね 10 分間以上となるよう、1,200 メートル以上（ならし走行を除く。）走行させて行われること。 また、認定検査規則第 4 条第 2 項第 4 号の「第 1 条第 2 号に掲げる方法により行う運転免許取得者等検査に係る業務を適正かつ確実にを行うことができる者として公安委員会が指定する者」に該当するかどうかについては、別添に定める指定基準に基づき、判断すること。</p> <p>〔2～3 略〕 〔別添 略〕 〔別記様式第 1 号～第 4 号 略〕</p>	<p>通達の発出日等を改正</p>

新旧対照表

○ 道路交通法等の改正等に係る審査基準

(赤文字及び下線部分は改正部分)

改正後	改正前	備考
<p style="text-align: center;">審 査 基 準</p> <p style="text-align: right;">令和7年3月24日作成</p>	<p style="text-align: center;">審 査 基 準</p> <p style="text-align: right;">令和4年5月13日作成</p>	
<p>法 令 名：道路交通法施行令</p>	<p>法 令 名：道路交通法施行令</p>	
<p>根 拠 条 項：第32条の7第2号</p>	<p>根 拠 条 項：第32条の7第2号</p>	
<p>処 分 の 概 要：19歳から大型自動車免許等を受けるための教習の課程の指定</p>	<p>処 分 の 概 要：19歳から大型自動車免許等を受けるための教習の課程の指定</p>	
<p>原権者（委任先）：千葉県公安委員会</p>	<p>原権者（委任先）：千葉県公安委員会</p>	
<p>法 令 の 定 め：大型自動車免許の欠格事由等の特例に係る教習の課程の指定に関する規則第1条第2項（指定の基準等）</p>	<p>法 令 の 定 め：大型自動車免許の欠格事由等の特例に係る教習の課程の指定に関する規則第1条第2項（指定の基準等）</p>	
<p>審 査 基 準：19歳から大型自動車免許等を受けるための教習の課程の指定の基準は、別紙のとおり。</p>	<p>審 査 基 準：19歳から大型自動車免許等を受けるための教習の課程の指定の基準は、別紙のとおり。</p>	
<p>標 準 処 理 期 間：14日</p>	<p>標 準 処 理 期 間：14日</p>	
<p>申 請 先：<u>交通部運転免許本部運転教育課</u></p>	<p>申 請 先：<u>千葉県警察本部交通部運転免許本部運転教育課</u></p>	
<p>問 い 合 わ せ 先：交通部運転免許本部運転教育課 教習所指導係（043-274-2000）</p>	<p>問 い 合 わ せ 先：交通部運転免許本部運転教育課 教習所指導係（043-274-2000）</p>	
<p>備 考：</p>	<p>備 考：</p>	

改正後	改正前	備考
<p>別紙1</p> <p>[1～4 略]</p> <p>5 教習実施上の留意事項</p> <p>[(1)～(6) 略]</p> <p>(7) 教習時間</p> <p>ア 1時限の時間</p> <p>学科教習及び技能教習は実質50分を確保すること（本人の確認、引継ぎ事項の確認、<u>運転免許証又は免許情報記録個人番号カード</u>の確認等の時間は、教習時間に含まれない。）。</p> <p>イ 一日で受けることができる時限数の制限</p> <p>本教習を受ける者1人に対する1日の技能教習の教習時間は、段階を問わず3時限を超えないこと（1日に3時限の教習を行う場合には、連続して3時限の教習を行わないこと。ただし、複数教習又は運転シミュレーターによる教習を2時限行う場合は、この限りではない。）。</p> <p>なお、教習生が本教習と同時に他の教習を受けている場合においては、他の教習の技能教習の教習時間と合わせて3時限を超えないこととする。また、指定教における府令第33条第5項第1号ヨの規定についても、同様とするものとする。</p> <p>[(8) 略]</p> <p>[6～8 略]</p> <p>[別表 略]</p>	<p>別紙1</p> <p>[1～4 略]</p> <p>5 教習実施上の留意事項</p> <p>[(1)～(6) 略]</p> <p>(7) 教習時間</p> <p>ア 1時限の時間</p> <p>学科教習及び技能教習は実質50分を確保すること（本人の確認、引継ぎ事項の確認、<u>運転免許証</u>の確認等の時間は、教習時間に含まれない。）。</p> <p>イ 一日で受けることができる時限数の制限</p> <p>本教習を受ける者1人に対する1日の技能教習の教習時間は、段階を問わず3時限を超えないこと（1日に3時限の教習を行う場合には、連続して3時限の教習を行わないこと。ただし、複数教習又は運転シミュレーターによる教習を2時限行う場合は、この限りではない。）。</p> <p>なお、教習生が本教習と同時に他の教習を受けている場合においては、他の教習の技能教習の教習時間と合わせて3時限を超えないこととする。また、指定教における府令第33条第5項第1号ヨの規定についても、同様とするものとする。</p> <p>[(8) 略]</p> <p>[6～8 略]</p> <p>[別表 略]</p>	<p>免許情報記録個人番号カードを追加</p>

新旧対照表

○ 道路交通法等の改正等に係る審査基準

(赤文字及び下線部分は改正部分)

改正後	改正前	備考
<p style="text-align: center;">審 査 基 準</p> <p style="text-align: right;">令和7年3月24日作成</p>	<p style="text-align: center;">審 査 基 準</p> <p style="text-align: right;">令和4年5月13日作成</p>	
<p>法 令 名：道路交通法施行令</p>	<p>法 令 名：道路交通法施行令</p>	
<p>根 拠 条 項：第32条の8第2号</p>	<p>根 拠 条 項：第32条の8第2号</p>	
<p>処 分 の 概 要：19歳から中型自動車免許等を受けるための教習の課程の指定</p>	<p>処 分 の 概 要：19歳から中型自動車免許等を受けるための教習の課程の指定</p>	
<p>原権者（委任先）：千葉県公安委員会</p>	<p>原権者（委任先）：千葉県公安委員会</p>	
<p>法 令 の 定 め：大型自動車免許の欠格事由等の特例に係る教習の課程の指定に関する規則第1条第3項（指定の基準等）</p>	<p>法 令 の 定 め：大型自動車免許の欠格事由等の特例に係る教習の課程の指定に関する規則第1条第3項（指定の基準等）</p>	
<p>審 査 基 準：19歳から中型自動車免許等を受けるための教習の課程の指定の基準は、別紙のとおり。</p>	<p>審 査 基 準：19歳から中型自動車免許等を受けるための教習の課程の指定の基準は、別紙のとおり。</p>	
<p>標 準 処 理 期 間：14日</p>	<p>標 準 処 理 期 間：14日</p>	
<p>申 請 先：<u>交通部運転免許本部運転教育課</u></p>	<p>申 請 先：<u>千葉県警察本部交通部運転免許本部運転教育課</u></p>	
<p>問 い 合 わ せ 先：<u>交通部</u>運転免許本部運転教育課 教習所指導係（043-274-2000）</p>	<p>問 い 合 わ せ 先：運転免許本部運転教育課 教習所指導係（043-274-2000）</p>	
<p>備 考：</p>	<p>備 考：</p>	

改正後	改正前	備考
<p>別紙1</p> <p>[1～4 略]</p> <p>5 教習実施上の留意事項</p> <p>[(1)～(6) 略]</p> <p>(7) 教習時間</p> <p>ア 1時限の時間 学科教習及び技能教習は実質50分を確保すること（本人の確認、引継ぎ事項の確認、<u>運転免許証又は免許情報記録個人番号カード</u>の確認等の時間は、教習時間に含まれない。）。</p> <p>イ 一日で受けることができる時限数の制限 本教習を受ける者1人に対する1日の技能教習の教習時間は、段階を問わず3時限を超えないこと（1日に3時限の教習を行う場合には、連続して3時限の教習を行わないこと。ただし、複数教習又は運転シミュレーターによる教習を2時限行う場合は、この限りではない。）。</p> <p>なお、教習生が本教習と同時に他の教習を受けている場合においては、他の教習の技能教習の教習時間と合わせて3時限を超えないこととする。また、指定教における府令第33条第5項第1号ヨの規定についても、同様とするものとする。</p> <p>[(8) 略] [6～8 略] [別表 略]</p>	<p>別紙1</p> <p>[1～4 略]</p> <p>5 教習実施上の留意事項</p> <p>[(1)～(6) 略]</p> <p>(7) 教習時間</p> <p>ア 1時限の時間 学科教習及び技能教習は実質50分を確保すること（本人の確認、引継ぎ事項の確認、<u>運転免許証</u>の確認等の時間は、教習時間に含まれない。）。</p> <p>イ 一日で受けることができる時限数の制限 本教習を受ける者1人に対する1日の技能教習の教習時間は、段階を問わず3時限を超えないこと（1日に3時限の教習を行う場合には、連続して3時限の教習を行わないこと。ただし、複数教習又は運転シミュレーターによる教習を2時限行う場合は、この限りではない。）。</p> <p>なお、教習生が本教習と同時に他の教習を受けている場合においては、他の教習の技能教習の教習時間と合わせて3時限を超えないこととする。また、指定教における府令第33条第5項第1号ヨの規定についても、同様とするものとする。</p> <p>[(8) 略] [6～8 略] [別表 略]</p>	<p>免許情報記録個人番号カードを追加</p>

新旧対照表

○ 道路交通法等の改正等に係る審査基準

(赤文字及び下線部分は改正部分)

改正後	改正前	備考
<p style="text-align: center;">審 査 基 準</p> <p style="text-align: right;">令和7年3月24日作成</p>	<p style="text-align: center;">審 査 基 準</p> <p style="text-align: right;">令和7年2月5日作成</p>	
<p>法 令 名：道路交通法施行令</p>	<p>法 令 名：道路交通法施行令</p>	
<p>根 拠 条 項：第33条の5の3第1項第1号ハ</p>	<p>根 拠 条 項：第33条の5の3第1項第1号ハ</p>	
<p>処 分 の 概 要：届出自動車教習所が行う教習の課程の指定（大型自動車免許、中型自動車免許、準中型自動車免許及び普通自動車免許に係るものに限る。）</p>	<p>処 分 の 概 要：届出自動車教習所が行う教習の課程の指定（大型自動車免許、中型自動車免許、準中型自動車免許及び普通自動車免許に係るものに限る。）</p>	
<p>原権者（委任先）：千葉県公安委員会</p>	<p>原権者（委任先）：千葉県公安委員会</p>	
<p>法 令 の 定 め：届出自動車教習所が行う教習の課程の指定に関する規則第1条第2項、第3項、第4項及び第5項（指定の基準等）</p>	<p>法 令 の 定 め：届出自動車教習所が行う教習の課程の指定に関する規則第1条第2項、第3項、第4項及び第5項（指定の基準等）</p>	
<p>審 査 基 準：大型自動車免許、中型自動車免許、準中型自動車免許及び普通自動車免許に係る教習の課程の指定の基準は、別紙のとおり。</p>	<p>審 査 基 準：大型自動車免許、中型自動車免許、準中型自動車免許及び普通自動車免許に係る教習の課程の指定の基準は、別紙のとおり。</p>	
<p>標 準 処 理 期 間：14日</p>	<p>標 準 処 理 期 間：14日</p>	
<p>申 請 先：交通部運転免許本部運転教育課</p>	<p>申 請 先：交通部運転免許本部運転教育課</p>	
<p>問 い 合 せ 先：交通部運転免許本部運転教育課 教習所指導係（043-274-2000）</p>	<p>問 い 合 せ 先：交通部運転免許本部運転教育課 教習所指導係（043-274-2000）</p>	
<p>備 考：</p>	<p>備 考：</p>	

改正後	改正前	備考
<p>別紙 1</p> <p>[1～2 略]</p> <p>[別添第 1～第 7 略]</p>	<p>別紙 1</p> <p>[1～2 略]</p> <p>[別添第 1～第 7 略]</p>	

改正後	改正前																																																																																																																				
別記様式第1 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> 特 定 教 習 原 簿 [免 許] </div> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:5%;">教育所名</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>フリガナ</td> <td colspan="2">-----</td> </tr> <tr> <td>氏名</td> <td colspan="2" rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;"> <div style="border: 1px dashed black; width: 100px; height: 100px; margin: auto;">写 真</div> </td> </tr> <tr> <td>生年月日</td> <td>年 月 日生 (歳) 男・女</td> </tr> <tr> <td>住所</td> <td>〒</td> </tr> <tr> <td>入 所 年 月 日</td> <td>年 月 日</td> <td>退 所 年 月 日</td> <td>年 月 日</td> </tr> <tr> <td>所 仮 免 許 有 効 期 限</td> <td>年 月 日</td> <td>仮 免 許 交 付 年 月 日</td> <td>年 月 日</td> </tr> <tr> <td>記 特 定 教 習 開 始 年 月 日</td> <td>年 月 日</td> <td>仮 免 許 証 番 号</td> <td></td> </tr> <tr> <td>録 在 所 証 明 書 発 行 年 月 日</td> <td>年 月 日</td> <td>在 所 証 明 書 番 号</td> <td></td> </tr> <tr> <td>終 了 証 明 書 発 行 年 月 日</td> <td>年 月 日</td> <td>終 了 証 明 書 番 号</td> <td></td> </tr> <tr> <td>類 別</td> <td colspan="3"> ☐住民票の写し ☐免許証等 ☐その他 () </td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">入 所 免 許 時 刻</td> <td>交付年月日</td> <td>年 月 日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>有効期限</td> <td>年 月 日まで有効</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">免許証等番号</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">免許の条件</td> <td> <table style="width:100%; text-align: center; font-size: small;"> <tr> <td>大</td><td>中</td><td>準</td><td>普</td><td>大</td><td>普</td><td>小</td><td>原</td><td>大</td><td>中</td><td>普</td><td>大</td><td>牽</td> </tr> <tr> <td>型</td><td>型</td><td>中</td><td>通</td><td>大</td><td>通</td><td>小</td><td>付</td><td>大</td><td>中</td><td>通</td><td>大</td><td>引</td> </tr> <tr> <td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td> </tr> <tr> <td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">の 教 習 確 認 条 件</td> <td>応急救護処置</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">有 無</td> </tr> <tr> <td>教習免除の有無</td> <td colspan="2">確認資料 ()</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">確認者 /</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">検査者 /</td> </tr> </table>	教育所名			フリガナ	-----		氏名	<div style="border: 1px dashed black; width: 100px; height: 100px; margin: auto;">写 真</div>		生年月日	年 月 日生 (歳) 男・女	住所	〒	入 所 年 月 日	年 月 日	退 所 年 月 日	年 月 日	所 仮 免 許 有 効 期 限	年 月 日	仮 免 許 交 付 年 月 日	年 月 日	記 特 定 教 習 開 始 年 月 日	年 月 日	仮 免 許 証 番 号		録 在 所 証 明 書 発 行 年 月 日	年 月 日	在 所 証 明 書 番 号		終 了 証 明 書 発 行 年 月 日	年 月 日	終 了 証 明 書 番 号		類 別	☐ 住民票の写し ☐ 免許証等 ☐ その他 ()			入 所 免 許 時 刻	交付年月日	年 月 日		有効期限	年 月 日まで有効		免許証等番号			免許の条件		<table style="width:100%; text-align: center; font-size: small;"> <tr> <td>大</td><td>中</td><td>準</td><td>普</td><td>大</td><td>普</td><td>小</td><td>原</td><td>大</td><td>中</td><td>普</td><td>大</td><td>牽</td> </tr> <tr> <td>型</td><td>型</td><td>中</td><td>通</td><td>大</td><td>通</td><td>小</td><td>付</td><td>大</td><td>中</td><td>通</td><td>大</td><td>引</td> </tr> <tr> <td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td> </tr> <tr> <td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td> </tr> </table>	大	中	準	普	大	普	小	原	大	中	普	大	牽	型	型	中	通	大	通	小	付	大	中	通	大	引	免	免	免	免	免	免	免	免	免	免	免	免	免	許	許	許	許	許	許	許	許	許	許	許	許	許	の 教 習 確 認 条 件	応急救護処置	有 無		教習免除の有無	確認資料 ()					確認者 /				検査者 /
教育所名																																																																																																																					
フリガナ	-----																																																																																																																				
氏名	<div style="border: 1px dashed black; width: 100px; height: 100px; margin: auto;">写 真</div>																																																																																																																				
生年月日			年 月 日生 (歳) 男・女																																																																																																																		
住所			〒																																																																																																																		
入 所 年 月 日	年 月 日	退 所 年 月 日	年 月 日																																																																																																																		
所 仮 免 許 有 効 期 限	年 月 日	仮 免 許 交 付 年 月 日	年 月 日																																																																																																																		
記 特 定 教 習 開 始 年 月 日	年 月 日	仮 免 許 証 番 号																																																																																																																			
録 在 所 証 明 書 発 行 年 月 日	年 月 日	在 所 証 明 書 番 号																																																																																																																			
終 了 証 明 書 発 行 年 月 日	年 月 日	終 了 証 明 書 番 号																																																																																																																			
類 別	☐ 住民票の写し ☐ 免許証等 ☐ その他 ()																																																																																																																				
入 所 免 許 時 刻	交付年月日	年 月 日																																																																																																																			
	有効期限	年 月 日まで有効																																																																																																																			
	免許証等番号																																																																																																																				
	免許の条件		<table style="width:100%; text-align: center; font-size: small;"> <tr> <td>大</td><td>中</td><td>準</td><td>普</td><td>大</td><td>普</td><td>小</td><td>原</td><td>大</td><td>中</td><td>普</td><td>大</td><td>牽</td> </tr> <tr> <td>型</td><td>型</td><td>中</td><td>通</td><td>大</td><td>通</td><td>小</td><td>付</td><td>大</td><td>中</td><td>通</td><td>大</td><td>引</td> </tr> <tr> <td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td> </tr> <tr> <td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td> </tr> </table>	大	中	準	普	大	普	小	原	大	中	普	大	牽	型	型	中	通	大	通	小	付	大	中	通	大	引	免	免	免	免	免	免	免	免	免	免	免	免	免	許	許	許	許	許	許	許	許	許	許	許	許	許																																																														
大	中	準	普	大	普	小	原	大	中	普	大	牽																																																																																																									
型	型	中	通	大	通	小	付	大	中	通	大	引																																																																																																									
免	免	免	免	免	免	免	免	免	免	免	免	免																																																																																																									
許	許	許	許	許	許	許	許	許	許	許	許	許																																																																																																									
の 教 習 確 認 条 件	応急救護処置	有 無																																																																																																																			
	教習免除の有無	確認資料 ()																																																																																																																			
			確認者 /																																																																																																																		
			検査者 /																																																																																																																		

 別記様式第1 特 定 教 習 原 簿 [免 許] | | | | | | |-----------------------|--|-----------------------------|--|---| | 教育所名 | | | | | | フリガナ | ----- | | | | | 氏名 | <div style="border: 1px dashed black; width: 100px; height: 100px; margin: auto;">写 真</div> | | | | | 生年月日 | | | 年 月 日生 (歳) 男・女 | | | 住所 | | | 〒 | | | 入 所 年 月 日 | 年 月 日 | 退 所 年 月 日 | 年 月 日 | | | 所 仮 免 許 有 効 期 限 | 年 月 日 | 仮 免 許 交 付 年 月 日 | 年 月 日 | | | 記 特 定 教 習 開 始 年 月 日 | 年 月 日 | 仮 免 許 証 番 号 | | | | 録 在 所 証 明 書 発 行 年 月 日 | 年 月 日 | 在 所 証 明 書 番 号 | | | | 終 了 証 明 書 発 行 年 月 日 | 年 月 日 | 終 了 証 明 書 番 号 | | | | 類 別 | ☐ 住民票の写し ☐ 免許証 ☐ その他 () | | | | | 入 所 免 許 時 刻 | 交付年月日 | 年 月 日 | | | | | 有効期限 | 年 月 日まで有効 | | | | | 免許証番号 | | | | | | 免許の条件 | | <table style="width:100%; text-align: center; font-size: small;"> <tr> <td>大</td><td>中</td><td>準</td><td>普</td><td>大</td><td>普</td><td>小</td><td>原</td><td>大</td><td>中</td><td>普</td><td>大</td><td>牽</td> </tr> <tr> <td>型</td><td>型</td><td>中</td><td>通</td><td>大</td><td>通</td><td>小</td><td>付</td><td>大</td><td>中</td><td>通</td><td>大</td><td>引</td> </tr> <tr> <td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td><td>免</td> </tr> <tr> <td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td><td>許</td> </tr> </table> | 大 | 中 | 準 | 普 | 大 | 普 | 小 | 原 | 大 | 中 | 普 | 大 | 牽 | 型 | 型 | 中 | 通 | 大 | 通 | 小 | 付 | 大 | 中 | 通 | 大 | 引 | 免 | 免 | 免 | 免 | 免 | 免 | 免 | 免 | 免 | 免 | 免 | 免 | 免 | 許 | 許 | 許 | 許 | 許 | 許 | 許 | 許 | 許 | 許 | 許 | 許 | | 大 | 中 | 準 | 普 | 大 | 普 | 小 | 原 | 大 | 中 | 普 | 大 | 牽 | | | 型 | 型 | 中 | 通 | 大 | 通 | 小 | 付 | 大 | 中 | 通 | 大 | 引 | | | 免 | 免 | 免 | 免 | 免 | 免 | 免 | 免 | 免 | 免 | 免 | 免 | 免 | | | 許 | 許 | 許 | 許 | 許 | 許 | 許 | 許 | 許 | 許 | 許 | 許 | 許 | | | の 教 習 確 認 条 件 | 応急救護処置 | 有 無 | | | | | 教習免除の有無 | 確認資料 () | | | | | | | 確認者
/ | | | | | | 検査者
/ | | | 「等」の追加 |

改正後

改正前

備考

大型免許目	① 運転操作と貨物との関係を理解し、貨物輸送を想定した適切な運転ができる。
中型免許標	② 他の交通に気配りしながら、危険を予測した運転ができる。
	③ 夜間の特性を理解しそれに応じた運転行動がとれる。
	④ 様々な悪条件下における状況把握と適切な対応ができる。
	⑤ 応急救護処置に関する知識と手技を習得する。

大型免許目	① 運転操作と貨物との関係を理解し、貨物輸送を想定した適切な運転ができる。
中型免許標	② 他の交通に気配りしながら、危険を予測した運転ができる。
	③ 夜間の特性を理解しそれに応じた運転行動がとれる。
	④ 様々な悪条件下における状況把握と適切な対応ができる。
	⑤ 応急救護処置に関する知識と手技を習得する。

教習事項	区分・方法	教習項目		目
危険を予測した運転	技能	1 貨物自動車の特性を理解した運転		
	技能	2 危険を予測した運転		
	学科	3 危険予測ディスカッション		
夜間の運転	技能	4 夜間の運転		
悪条件下での運転	技能	5 悪条件下での運転		
応急救護処置	講義	1 応急救護処置とは	2 実施上の留意事項	
		3 救急体制	4 応急救護処置の基礎知識	
	実技	5 応急救護処置の基本	6 応急救護処置の実践	
		7 まとめ		

教習事項	区分・方法	教習項目		目
危険を予測した運転	技能	1 貨物自動車の特性を理解した運転		
	技能	2 危険を予測した運転		
	学科	3 危険予測ディスカッション		
夜間の運転	技能	4 夜間の運転		
悪条件下での運転	技能	5 悪条件下での運転		
応急救護処置	講義	1 応急救護処置とは	2 実施上の留意事項	
		3 救急体制	4 応急救護処置の基礎知識	
	実技	5 応急救護処置の基本	6 応急救護処置の実践	
		7 まとめ		

教習事項	時限	年月日	指導員	実施事項	備考（申し送り事項等）
危険予測教習	1				
	2				
	3				
夜間の運転	1				
悪条件下での運転					
応急救護処置	1				
	2				
	3				
追加教習記載欄					

教習事項	時限	年月日	指導員	実施事項	備考（申し送り事項等）
危険予測教習	1				
	2				
	3				
夜間の運転	1				
悪条件下での運転					
応急救護処置	1				
	2				
	3				
追加教習記載欄					

注 運転シミュレーターを使用した教習を行った場合は シ、複数教習を行った場合は 複、暗室教習を行った場合は 暗、場内教習を行った場合は 場、として備考欄に記載すること。

注 運転シミュレーターを使用した教習を行った場合は シ、複数教習を行った場合は 複、暗室教習を行った場合は 暗、場内教習を行った場合は 場、として備考欄に記載すること。

改正後

準中型免許 目標	①	運転操作と貨物との関係を理解し、貨物輸送を想定した適切な運転ができる。
	②	他の交通に気配りしながら、危険を予測した運転ができる。
	③	夜間の特性を理解しそれに応じた運転行動がとれる。
	④	様々な悪条件下における状況把握と適切な対応ができる。
	⑤	高速走行の特性を知り、高速道路において安全に運転できる。
	⑥	応急救護処置に関する知識と手技を習得する。

教習事項	区分・方法	教習項目	
危険を予測した運転 (貨物自動車)	技能	1	貨物自動車の特性を理解した運転
	技能	2	危険を予測した運転
	学科	3	危険予測ディスカッション
危険を予測した運転 (普通乗用自動車)	技能	1	危険を予測した運転
	学科	2	危険予測ディスカッション
夜間の運転	技能	4	夜間の運転
悪条件下での運転	技能	5	悪条件下での運転
高速道路教習	学科	1	高速道路での運転に必要な知識
	技能	2	高速道路での運転
応急救護処置	講義	1	応急救護処置とは
		2	実施上の留意事項
	3	救急体制	
	4	応急救護処置の基礎知識	
	5	応急救護処置の基本	
実技	実技	6	応急救護処置の実践
		7	まとめ

教習事項	時限	年月日	指導員	実施事項	備考(申し送り事項等)
危険予測教習	1				
	2				
	3				
	4				
	5				
夜間の運転	1				
悪条件下での運転					
高速道路教習	1				
	2				
応急救護処置	1				
	2				
	3				
追加教習記載欄					

注 運転シミュレーターを使用した教習を行った場合は **シ**、複数教習を行った場合は **複**、暗室教習を行った場合は **暗**、場内教習を行った場合は **場**、として備考欄に記載すること。

改正前

準中型免許 目標	①	運転操作と貨物との関係を理解し、貨物輸送を想定した適切な運転ができる。
	②	他の交通に気配りしながら、危険を予測した運転ができる。
	③	夜間の特性を理解しそれに応じた運転行動がとれる。
	④	様々な悪条件下における状況把握と適切な対応ができる。
	⑤	高速走行の特性を知り、高速道路において安全に運転できる。
	⑥	応急救護処置に関する知識と手技を習得する。

教習事項	区分・方法	教習項目	
危険を予測した運転 (貨物自動車)	技能	1	貨物自動車の特性を理解した運転
	技能	2	危険を予測した運転
	学科	3	危険予測ディスカッション
危険を予測した運転 (普通乗用自動車)	技能	1	危険を予測した運転
	学科	2	危険予測ディスカッション
夜間の運転	技能	4	夜間の運転
悪条件下での運転	技能	5	悪条件下での運転
高速道路教習	学科	1	高速道路での運転に必要な知識
	技能	2	高速道路での運転
応急救護処置	講義	1	応急救護処置とは
		2	実施上の留意事項
	3	救急体制	
	4	応急救護処置の基礎知識	
	5	応急救護処置の基本	
実技	実技	6	応急救護処置の実践
		7	まとめ

教習事項	時限	年月日	指導員	実施事項	備考(申し送り事項等)
危険予測教習	1				
	2				
	3				
	4				
	5				
夜間の運転	1				
悪条件下での運転					
高速道路教習	1				
	2				
応急救護処置	1				
	2				
	3				
追加教習記載欄					

注 運転シミュレーターを使用した教習を行った場合は **シ**、複数教習を行った場合は **複**、暗室教習を行った場合は **暗**、場内教習を行った場合は **場**、として備考欄に記載すること。

備考

改正後

普通免許	目	① 他の交通に気配りしながら、危険を予測した運転ができる。
		② 高速走行の特性を知り、高速道路において安全に運転できる。
	標	③ 応急救護処置に関する知識を習得する。

教習事項	区分・方法	教習項目
危険予測教習	技能	1 危険を予測した運転
	学科	2 危険予測ディスカッション
高速道路教習	学科	1 高速道路での運転に必要な知識
	技能	2 高速道路での運転
応急救護処置教習	講義	1 応急救護処置とは 2 実施上の留意事項
		3 救急体制 4 応急救護処置の基礎知識
	実技	5 応急救護処置の基本 6 応急救護処置の実践 7 まとめ

教習事項	時限	年月日	指導員	実施事項	備考（申し送り事項等）
危険予測教習	1				
	2				
高速道路教習	1				
	2				
応急救護処置教習	1				
	2				
	3				
追加教習記載欄					

注 運転シミュレーターを使用した教習を行った場合は ㊦、複数教習を行った場合は ㊧として備考欄に記載すること。

改正前

普通免許	目	① 他の交通に気配りしながら、危険を予測した運転ができる。
		② 高速走行の特性を知り、高速道路において安全に運転できる。
	標	③ 応急救護処置に関する知識を習得する。

教習事項	区分・方法	教習項目
危険予測教習	技能	1 危険を予測した運転
	学科	2 危険予測ディスカッション
高速道路教習	学科	1 高速道路での運転に必要な知識
	技能	2 高速道路での運転
応急救護処置教習	講義	1 応急救護処置とは 2 実施上の留意事項
		3 救急体制 4 応急救護処置の基礎知識
	実技	5 応急救護処置の基本 6 応急救護処置の実践 7 まとめ

教習事項	時限	年月日	指導員	実施事項	備考（申し送り事項等）
危険予測教習	1				
	2				
高速道路教習	1				
	2				
応急救護処置教習	1				
	2				
	3				
追加教習記載欄					

注 運転シミュレーターを使用した教習を行った場合は ㊦、複数教習を行った場合は ㊧として備考欄に記載すること。

備考

改正後						改正前						備考
大型二輪免許	目	① 他の交通に気配りしながら、危険を予測した運転ができる。				大型二輪免許	目	① 他の交通に気配りしながら、危険を予測した運転ができる。				
普通二輪免許	標	② 応急救護処置に関する知識を習得する。				普通二輪免許	標	② 応急救護処置に関する知識を習得する。				
教習事項	区分・方法	教習項目				教習事項	区分・方法	教習項目				
危険予測教習	技能	1 危険を予測した運転 4 ケース・スタディ（交差点） 5 交通の状況及び道路環境に応じた運転				危険予測教習	技能	1 危険を予測した運転 4 ケース・スタディ（交差点） 5 交通の状況及び道路環境に応じた運転				
	学科	2 危険予測ディスカッション 3 二人乗り運転に関する知識					学科	2 危険予測ディスカッション 3 二人乗り運転に関する知識				
応急救護処置教習	講義	1 応急救護処置とは 2 実施上の留意事項				応急救護処置教習	講義	1 応急救護処置とは 2 実施上の留意事項				
		3 救急体制 4 応急救護処置の基礎知識						実技	3 救急体制 4 応急救護処置の基礎知識			
	5 応急救護処置の基本 6 応急救護処置の実践				5 応急救護処置の基本 6 応急救護処置の実践							
		7 まとめ						7 まとめ				
教習事項	時限	年月日	指導員	実施事項	備考（申し送り事項等）	教習事項	時限	年月日	指導員	実施事項	備考（申し送り事項等）	
危険予測教習	1					危険予測教習	1					
	2						2					
	3						3					
応急救護処置教習	1					応急救護処置教習	1					
	2						2					
	3						3					
追加教習記載欄						追加教習記載欄						
注 運転シミュレーターを使用した教習を行った場合は ㊟、複数教習を行った場合は ㊟として備考欄に記載すること。						注 運転シミュレーターを使用した教習を行った場合は ㊟、複数教習を行った場合は ㊟として備考欄に記載すること。						

改正後		改正前		備考	
大型第二種 中型第二種 普通第二種 免	目 ① 他の交通に気配りしながら、危険を予測した運転ができる。 ② 夜間の特性を理解しそれに適した運転行動がとれる。 ③ 様々な悪条件下における状況把握と適切な対応ができる。 ④ 子供、高齢者及び身体障害者の特性を理解し適切な対応ができる。 ⑤ 応急救護処置に関する知識と手技を習得する。	大型第二種 中型第二種 普通第二種 免	目 ① 他の交通に気配りしながら、危険を予測した運転ができる。 ② 夜間の特性を理解しそれに適した運転行動がとれる。 ③ 様々な悪条件下における状況把握と適切な対応ができる。 ④ 子供、高齢者及び身体障害者の特性を理解し適切な対応ができる。 ⑤ 応急救護処置に関する知識と手技を習得する。		
教習事項	区分・方法	教習事項	区分・方法		
危険を予測した運転	技能	1 危険を予測した運転	技能	1 危険を予測した運転	
夜間の運転	学科	2 危険予測ディスカッション	学科	2 危険予測ディスカッション	
悪条件下での運転	技能	3 夜間の運転	技能	3 夜間の運転	
身体障害者等への対応	技能	4 悪条件下での運転	技能	4 悪条件下での運転	
	実習	5 身体障害者等への対応	実習	5 身体障害者等への対応	
応急救護処置	講義	1 応急救護処置とは	講義	2 実施上の一般的留意事項	
		3 救急体制		4 具体的な実施要領	
	実技	5 各種傷病者に対する対応	実技	6 まとめ	
		7 傷病者の観察・移動		8 体位管理	
		9 心肺蘇生		10 気道異物除去	
		11 止血法		12 包帯法	
				13 固定法	
教習事項	時限	年月日	指導員	実施事項	備考（申し送り事項等）
危険予測教習	1				
	2				
	3				
夜間の運転	1				
悪条件下での運転	1				
身体障害者等交通弱者への対応	1				
応急救護処置	1				
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
追加教習記載欄					
注 運転シミュレーターを使用した教習を行った場合は ㊟、複数教習を行った場合は ㊟、暗室教習を行った場合は 暗、場内教習を行った場合は 場、として備考欄に記載すること。					
〔別記様式第2～第3 略〕					
注 運転シミュレーターを使用した教習を行った場合は ㊟、複数教習を行った場合は ㊟、暗室教習を行った場合は 暗、場内教習を行った場合は 場、として備考欄に記載すること。					
〔別記様式第2～第3 略〕					

新旧対照表

○ 道路交通法等の改正等に係る審査基準

(赤文字及び下線部分は改正部分)

改正後	改正前	備考
<p style="text-align: center;">審 査 基 準</p> <p style="text-align: right;">令和7年<u>3</u>月<u>24</u>日作成</p>	<p style="text-align: center;">審 査 基 準</p> <p style="text-align: right;">令和7年<u>2</u>月<u>5</u>日作成</p>	
<p>法 令 名：道路交通法施行令</p>	<p>法 令 名：道路交通法施行令</p>	
<p>根 拠 条 項：第33条の5の3第2項第1号ハ</p>	<p>根 拠 条 項：第33条の5の3第2項第1号ハ</p>	
<p>処 分 の 概 要：届出自動車教習所が行う教習の課程の指定（大型自動二輪車免許及び普通自動二輪車免許に係るものに限る。）</p>	<p>処 分 の 概 要：届出自動車教習所が行う教習の課程の指定（大型自動二輪車免許及び普通自動二輪車免許に係るものに限る。）</p>	
<p>原権者（委任先）：千葉県公安委員会</p>	<p>原権者（委任先）：千葉県公安委員会</p>	
<p>法 令 の 定 め：届出自動車教習所が行う教習の課程の指定に関する規則第1条第6項及び第7項（指定の基準等）</p>	<p>法 令 の 定 め：届出自動車教習所が行う教習の課程の指定に関する規則第1条第6項及び第7項（指定の基準等）</p>	
<p>審 査 基 準：大型自動二輪車免許及び普通自動二輪車免許に係る教習の課程の指定の基準は、別紙のとおり。</p>	<p>審 査 基 準：大型自動二輪車免許及び普通自動二輪車免許に係る教習の課程の指定の基準は、別紙のとおり。</p>	
<p>標 準 処 理 期 間：14日</p>	<p>標 準 処 理 期 間：14日</p>	
<p>申 請 先：交通部運転免許本部運転教育課</p>	<p>申 請 先：交通部運転免許本部運転教育課</p>	
<p>問 い 合 わ せ 先：交通部運転免許本部運転教育課 教習所指導係（043-274-2000）</p>	<p>問 い 合 わ せ 先：交通部運転免許本部運転教育課 教習所指導係（043-274-2000）</p>	
<p>備 考：</p>	<p>備 考：</p>	

改正後	改正前	備考
<p>別紙</p> <p>[1～2 略]</p> <p>[別添第1～第3 略]</p>	<p>別紙1</p> <p>[1～2 略]</p> <p>[別添第1～第3 略]</p>	

改正後

改正前

備考

大型免許目	① 運転操作と貨物との関係を理解し、貨物輸送を想定した適切な運転ができる。
中型免許標	② 他の交通に気配りしながら、危険を予測した運転ができる。
	③ 夜間の特性を理解しそれに応じた運転行動がとれる。
	④ 様々な悪条件下における状況把握と適切な対応ができる。
	⑤ 応急救護処置に関する知識と手技を習得する。

大型免許目	① 運転操作と貨物との関係を理解し、貨物輸送を想定した適切な運転ができる。
中型免許標	② 他の交通に気配りしながら、危険を予測した運転ができる。
	③ 夜間の特性を理解しそれに応じた運転行動がとれる。
	④ 様々な悪条件下における状況把握と適切な対応ができる。
	⑤ 応急救護処置に関する知識と手技を習得する。

教習事項	区分・方法	教習項目		目
危険を予測した運転	技能	1 貨物自動車の特性を理解した運転		
	技能	2 危険を予測した運転		
	学科	3 危険予測ディスカッション		
夜間の運転	技能	4 夜間の運転		
悪条件下での運転	技能	5 悪条件下での運転		
応急救護処置	講義	1 応急救護処置とは	2 実施上の留意事項	
		3 救急体制	4 応急救護処置の基礎知識	
	実技	5 応急救護処置の基本	6 応急救護処置の実践	
		7 まとめ		

教習事項	区分・方法	教習項目		目
危険を予測した運転	技能	1 貨物自動車の特性を理解した運転		
	技能	2 危険を予測した運転		
	学科	3 危険予測ディスカッション		
夜間の運転	技能	4 夜間の運転		
悪条件下での運転	技能	5 悪条件下での運転		
応急救護処置	講義	1 応急救護処置とは	2 実施上の留意事項	
		3 救急体制	4 応急救護処置の基礎知識	
	実技	5 応急救護処置の基本	6 応急救護処置の実践	
		7 まとめ		

教習事項	時限	年月日	指導員	実施事項	備考（申し送り事項等）
危険予測教習	1				
	2				
	3				
夜間の運転	1				
悪条件下での運転					
応急救護処置	1				
	2				
	3				
追加教習記載欄					

教習事項	時限	年月日	指導員	実施事項	備考（申し送り事項等）
危険予測教習	1				
	2				
	3				
夜間の運転	1				
悪条件下での運転					
応急救護処置	1				
	2				
	3				
追加教習記載欄					

注 運転シミュレーターを使用した教習を行った場合は シ、複数教習を行った場合は 複、暗室教習を行った場合は 暗、場内教習を行った場合は 場、として備考欄に記載すること。

注 運転シミュレーターを使用した教習を行った場合は シ、複数教習を行った場合は 複、暗室教習を行った場合は 暗、場内教習を行った場合は 場、として備考欄に記載すること。

改正後

改正前

備考

準中型免許 目標	①	運転操作と貨物との関係を理解し、貨物輸送を想定した適切な運転ができる。
	②	他の交通に気配りしながら、危険を予測した運転ができる。
	③	夜間の特性を理解しそれに応じた運転行動がとれる。
	④	様々な悪条件下における状況把握と適切な対応ができる。
	⑤	高速走行の特性を知り、高速道路において安全に運転できる。
	⑥	応急救護処置に関する知識と手技を習得する。

準中型免許 目標	①	運転操作と貨物との関係を理解し、貨物輸送を想定した適切な運転ができる。
	②	他の交通に気配りしながら、危険を予測した運転ができる。
	③	夜間の特性を理解しそれに応じた運転行動がとれる。
	④	様々な悪条件下における状況把握と適切な対応ができる。
	⑤	高速走行の特性を知り、高速道路において安全に運転できる。
	⑥	応急救護処置に関する知識と手技を習得する。

教習事項	区分・方法	教習項目	
危険を予測した運転 (貨物自動車)	技能	1	貨物自動車の特性を理解した運転
	技能	2	危険を予測した運転
	学科	3	危険予測ディスカッション
危険を予測した運転 (普通乗用自動車)	技能	1	危険を予測した運転
	学科	2	危険予測ディスカッション
夜間の運転	技能	4	夜間の運転
悪条件下での運転	技能	5	悪条件下での運転
高速道路教習	学科	1	高速道路での運転に必要な知識
	技能	2	高速道路での運転
応急救護処置	講義	1	応急救護処置とは
		2	実施上の留意事項
	3	救急体制	
	4	応急救護処置の基礎知識	
	5	応急救護処置の基本	
実技	6	6	応急救護処置の実践
		7	まとめ

教習事項	区分・方法	教習項目	
危険を予測した運転 (貨物自動車)	技能	1	貨物自動車の特性を理解した運転
	技能	2	危険を予測した運転
	学科	3	危険予測ディスカッション
危険を予測した運転 (普通乗用自動車)	技能	1	危険を予測した運転
	学科	2	危険予測ディスカッション
夜間の運転	技能	4	夜間の運転
悪条件下での運転	技能	5	悪条件下での運転
高速道路教習	学科	1	高速道路での運転に必要な知識
	技能	2	高速道路での運転
応急救護処置	講義	1	応急救護処置とは
		2	実施上の留意事項
	3	救急体制	
	4	応急救護処置の基礎知識	
	5	応急救護処置の基本	
実技	6	6	応急救護処置の実践
		7	まとめ

教習事項	時限	年月日	指導員	実施事項	備考(申し送り事項等)
危険予測教習	1				
	2				
	3				
	4				
	5				
夜間の運転	1				
悪条件下での運転					
高速道路教習	1				
	2				
応急救護処置	1				
	2				
	3				
追加教習記載欄					

教習事項	時限	年月日	指導員	実施事項	備考(申し送り事項等)
危険予測教習	1				
	2				
	3				
	4				
	5				
夜間の運転	1				
悪条件下での運転					
高速道路教習	1				
	2				
応急救護処置	1				
	2				
	3				
追加教習記載欄					

注 運転シミュレーターを使用した教習を行った場合は **シ**、複数教習を行った場合は **複**、暗室教習を行った場合は **暗**、場内教習を行った場合は **場**、として備考欄に記載すること。

注 運転シミュレーターを使用した教習を行った場合は **シ**、複数教習を行った場合は **複**、暗室教習を行った場合は **暗**、場内教習を行った場合は **場**、として備考欄に記載すること。

改正後

普通免許	目	① 他の交通に気配りしながら、危険を予測した運転ができる。
		② 高速走行の特性を知り、高速道路において安全に運転できる。
	標	③ 応急救護処置に関する知識を習得する。

教習事項	区分・方法	教習項目
危険予測教習	技能	1 危険を予測した運転
	学科	2 危険予測ディスカッション
高速道路教習	学科	1 高速道路での運転に必要な知識
	技能	2 高速道路での運転
応急救護処置教習	講義	1 応急救護処置とは 2 実施上の留意事項
		3 救急体制 4 応急救護処置の基礎知識
	実技	5 応急救護処置の基本 6 応急救護処置の実践
		7 まとめ

教習事項	時限	年月日	指導員	実施事項	備考（申し送り事項等）
危険予測教習	1				
	2				
高速道路教習	1				
	2				
応急救護処置教習	1				
	2				
	3				
追加教習記載欄					

注 運転シミュレーターを使用した教習を行った場合は ㊦、複数教習を行った場合は ㊧として備考欄に記載すること。

改正前

普通免許	目	① 他の交通に気配りしながら、危険を予測した運転ができる。
		② 高速走行の特性を知り、高速道路において安全に運転できる。
	標	③ 応急救護処置に関する知識を習得する。

教習事項	区分・方法	教習項目
危険予測教習	技能	1 危険を予測した運転
	学科	2 危険予測ディスカッション
高速道路教習	学科	1 高速道路での運転に必要な知識
	技能	2 高速道路での運転
応急救護処置教習	講義	1 応急救護処置とは 2 実施上の留意事項
		3 救急体制 4 応急救護処置の基礎知識
	実技	5 応急救護処置の基本 6 応急救護処置の実践
		7 まとめ

教習事項	時限	年月日	指導員	実施事項	備考（申し送り事項等）
危険予測教習	1				
	2				
高速道路教習	1				
	2				
応急救護処置教習	1				
	2				
	3				
追加教習記載欄					

注 運転シミュレーターを使用した教習を行った場合は ㊦、複数教習を行った場合は ㊧として備考欄に記載すること。

備考

改正後						改正前						備考
大型二輪免許	目	① 他の交通に気配りしながら、危険を予測した運転ができる。				大型二輪免許	目	① 他の交通に気配りしながら、危険を予測した運転ができる。				
普通二輪免許	標	② 応急救護処置に関する知識を習得する。				普通二輪免許	標	② 応急救護処置に関する知識を習得する。				
教習事項	区分・方法	教習項目				教習事項	区分・方法	教習項目				
危険予測教習	技能	1 危険を予測した運転 4 ケース・スタディ (交差点) 5 交通の状況及び道路環境に応じた運転				危険予測教習	技能	1 危険を予測した運転 4 ケース・スタディ (交差点) 5 交通の状況及び道路環境に応じた運転				
	学科	2 危険予測ディスカッション 3 二人乗り運転に関する知識					学科	2 危険予測ディスカッション 3 二人乗り運転に関する知識				
応急救護処置教習	講義	1 応急救護処置とは 2 実施上の留意事項				応急救護処置教習	講義	1 応急救護処置とは 2 実施上の留意事項				
		3 救急体制 4 応急救護処置の基礎知識						3 救急体制 4 応急救護処置の基礎知識				
	実技	5 応急救護処置の基本 6 応急救護処置の実践					実技		5 応急救護処置の基本 6 応急救護処置の実践			
7 まとめ						7 まとめ						
教習事項	時限	年月日	指導員	実施事項	備考 (申し送り事項等)	教習事項	時限	年月日	指導員	実施事項	備考 (申し送り事項等)	
危険予測教習	1					危険予測教習	1					
	2						2					
	3						3					
応急救護処置教習	1					応急救護処置教習	1					
	2						2					
	3						3					
追加教習記載欄						追加教習記載欄						
注 運転シミュレーターを使用した教習を行った場合は ㊟、複数教習を行った場合は ㊟として備考欄に記載すること。						注 運転シミュレーターを使用した教習を行った場合は ㊟、複数教習を行った場合は ㊟として備考欄に記載すること。						

改正後

大型第二種 中型第二種 普通第二種 免	目 標	① 他の交通に気配りしながら、危険を予測した運転ができる。 ② 夜間の特性を理解しそれに適した運転行動がとれる。 ③ 様々な悪条件下における状況把握と適切な対応ができる。 ④ 子供、高齢者及び身体障害者の特性を理解し適切な対応ができる。 ⑤ 応急救護処置に関する知識と手技を習得する。
------------------------------	--------	--

教習事項	区分・方法	教習項目	目
危険を予測した運転	技能	1 危険を予測した運転	
夜間の運転	学科	2 危険予測ディスカッション	
悪条件下での運転	技能	3 夜間の運転	
身体障害者等への対応	技能	4 悪条件下での運転	
	実習	5 身体障害者等への対応	
応急救護処置	講義	1 応急救護処置とは 3 救急体制 5 各種傷病者に対する対応	2 実施上の一般的留意事項 4 具体的な実施要領 6 まとめ
	実技	7 傷病者の観察・移動 9 心肺蘇生 11 止血法	8 体位管理 10 気道異物除去 12 包帯法 13 固定法

教習事項	時限	年月日	指導員	実施事項	備考（申し送り事項等）
危険予測教習	1				
	2				
	3				
夜間の運転	1				
悪条件下での運転	1				
身体障害者等交通弱者への対応	1				
応急救護処置	1				
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
追加教習記載欄					

注 運転シミュレーターを使用した教習を行った場合は ㊦、複数教習を行った場合は ㊦、暗室教習を行った場合は 暗、場内教習を行った場合は 場、として備考欄に記載すること。

[別記様式第2～第3 略]

改正前

大型第二種 中型第二種 普通第二種 免	目 標	① 他の交通に気配りしながら、危険を予測した運転ができる。 ② 夜間の特性を理解しそれに適した運転行動がとれる。 ③ 様々な悪条件下における状況把握と適切な対応ができる。 ④ 子供、高齢者及び身体障害者の特性を理解し適切な対応ができる。 ⑤ 応急救護処置に関する知識と手技を習得する。
------------------------------	--------	--

教習事項	区分・方法	教習項目	目
危険を予測した運転	技能	1 危険を予測した運転	
夜間の運転	学科	2 危険予測ディスカッション	
悪条件下での運転	技能	3 夜間の運転	
身体障害者等への対応	技能	4 悪条件下での運転	
	実習	5 身体障害者等への対応	
応急救護処置	講義	1 応急救護処置とは 3 救急体制 5 各種傷病者に対する対応	2 実施上の一般的留意事項 4 具体的な実施要領 6 まとめ
	実技	7 傷病者の観察・移動 9 心肺蘇生 11 止血法	8 体位管理 10 気道異物除去 12 包帯法 13 固定法

教習事項	時限	年月日	指導員	実施事項	備考（申し送り事項等）
危険予測教習	1				
	2				
	3				
夜間の運転	1				
悪条件下での運転	1				
身体障害者等交通弱者への対応	1				
応急救護処置	1				
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
追加教習記載欄					

注 運転シミュレーターを使用した教習を行った場合は ㊦、複数教習を行った場合は ㊦、暗室教習を行った場合は 暗、場内教習を行った場合は 場、として備考欄に記載すること。

[別記様式第2～第3 略]

備考

新旧対照表

○ 道路交通法等の改正等に係る審査基準

(赤文字及び下線部分は改正部分)

改正後	改正前	備考
<p style="text-align: center;">審 査 基 準</p> <p style="text-align: right;">令和7年<u>3</u>月<u>24</u>日作成</p>	<p style="text-align: center;">審 査 基 準</p> <p style="text-align: right;">令和7年<u>2</u>月<u>5</u>日作成</p>	
<p>法 令 名：道路交通法施行令</p>	<p>法 令 名：道路交通法施行令</p>	
<p>根 拠 条 項：第33条の5の3第4項第1号ハ</p>	<p>根 拠 条 項：第33条の5の3第4項第1号ハ</p>	
<p>処 分 の 概 要：届出自動車教習所が行う教習の課程の指定（大型自動車第二種免許、中型自動車第二種免許及び普通自動車第二種免許に係るものに限る。）</p>	<p>処 分 の 概 要：届出自動車教習所が行う教習の課程の指定（大型自動車第二種免許、中型自動車第二種免許及び普通自動車第二種免許に係るものに限る。）</p>	
<p>原権者（委任先）：千葉県公安委員会</p>	<p>原権者（委任先）：千葉県公安委員会</p>	
<p>法 令 の 定 め：届出自動車教習所が行う教習の課程の指定に関する規則第1条第8項、第9項及び第10項（指定の基準等）</p>	<p>法 令 の 定 め：届出自動車教習所が行う教習の課程の指定に関する規則第1条第8項、第9項及び第10項（指定の基準等）</p>	
<p>審 査 基 準：大型自動車第二種免許、中型自動車第二種免許及び普通自動車第二種免許に係る教習の課程の指定の基準は、別紙のとおり。</p>	<p>審 査 基 準：大型自動車第二種免許、中型自動車第二種免許及び普通自動車第二種免許に係る教習の課程の指定の基準は、別紙のとおり。</p>	
<p>標 準 処 理 期 間：14日</p>	<p>標 準 処 理 期 間：14日</p>	
<p>申 請 先：交通部運転免許本部運転教育課</p>	<p>申 請 先：交通部運転免許本部運転教育課</p>	
<p>問 い 合 わ せ 先：交通部運転免許本部運転教育課 教習所指導係（043-274-2000）</p>	<p>問 い 合 わ せ 先：交通部運転免許本部運転教育課 教習所指導係（043-274-2000）</p>	
<p>備 考：</p>	<p>備 考：</p>	

改正後	改正前	備考
<p>別紙</p> <p>[1～2 略]</p> <p>[別添第 1～第 4 略]</p>	<p>別紙 1</p> <p>[1～2 略]</p> <p>[別添第 1～第 4 略]</p>	

改正後

改正前

備考

大型免許目	① 運転操作と貨物との関係を理解し、貨物輸送を想定した適切な運転ができる。
中型免許標	② 他の交通に気配りしながら、危険を予測した運転ができる。
	③ 夜間の特性を理解しそれに応じた運転行動がとれる。
	④ 様々な悪条件下における状況把握と適切な対応ができる。
	⑤ 応急救護処置に関する知識と手技を習得する。

大型免許目	① 運転操作と貨物との関係を理解し、貨物輸送を想定した適切な運転ができる。
中型免許標	② 他の交通に気配りしながら、危険を予測した運転ができる。
	③ 夜間の特性を理解しそれに応じた運転行動がとれる。
	④ 様々な悪条件下における状況把握と適切な対応ができる。
	⑤ 応急救護処置に関する知識と手技を習得する。

教習事項	区分・方法	教習項目		目
危険を予測した運転	技能	1 貨物自動車の特性を理解した運転		
	技能	2 危険を予測した運転		
	学科	3 危険予測ディスカッション		
夜間の運転	技能	4 夜間の運転		
悪条件下での運転	技能	5 悪条件下での運転		
応急救護処置	講義	1 応急救護処置とは	2 実施上の留意事項	
		3 救急体制	4 応急救護処置の基礎知識	
	実技	5 応急救護処置の基本	6 応急救護処置の実践	
		7 まとめ		

教習事項	区分・方法	教習項目		目
危険を予測した運転	技能	1 貨物自動車の特性を理解した運転		
	技能	2 危険を予測した運転		
	学科	3 危険予測ディスカッション		
夜間の運転	技能	4 夜間の運転		
悪条件下での運転	技能	5 悪条件下での運転		
応急救護処置	講義	1 応急救護処置とは	2 実施上の留意事項	
		3 救急体制	4 応急救護処置の基礎知識	
	実技	5 応急救護処置の基本	6 応急救護処置の実践	
		7 まとめ		

教習事項	時限	年月日	指導員	実施事項	備考（申し送り事項等）
危険予測教習	1				
	2				
	3				
夜間の運転	1				
悪条件下での運転					
応急救護処置	1				
	2				
	3				
追加教習記載欄					

教習事項	時限	年月日	指導員	実施事項	備考（申し送り事項等）
危険予測教習	1				
	2				
	3				
夜間の運転	1				
悪条件下での運転					
応急救護処置	1				
	2				
	3				
追加教習記載欄					

注 運転シミュレーターを使用した教習を行った場合は シ、複数教習を行った場合は 複、暗室教習を行った場合は 暗、場内教習を行った場合は 場、として備考欄に記載すること。

注 運転シミュレーターを使用した教習を行った場合は シ、複数教習を行った場合は 複、暗室教習を行った場合は 暗、場内教習を行った場合は 場、として備考欄に記載すること。

改正後

改正前

備考

準中型免許 目 標	①	運転操作と貨物との関係を理解し、貨物輸送を想定した適切な運転ができる。
	②	他の交通に気配りしながら、危険を予測した運転ができる。
	③	夜間の特性を理解しそれに応じた運転行動がとれる。
	④	様々な悪条件下における状況把握と適切な対応ができる。
	⑤	高速走行の特性を知り、高速道路において安全に運転できる。
	⑥	応急救護処置に関する知識と手技を習得する。

準中型免許 目 標	①	運転操作と貨物との関係を理解し、貨物輸送を想定した適切な運転ができる。
	②	他の交通に気配りしながら、危険を予測した運転ができる。
	③	夜間の特性を理解しそれに応じた運転行動がとれる。
	④	様々な悪条件下における状況把握と適切な対応ができる。
	⑤	高速走行の特性を知り、高速道路において安全に運転できる。
	⑥	応急救護処置に関する知識と手技を習得する。

教習事項	区分・方法	教習項目	
危険を予測した運転 (貨物自動車)	技能	1	貨物自動車の特性を理解した運転
	技能	2	危険を予測した運転
	学科	3	危険予測ディスカッション
危険を予測した運転 (普通乗用自動車)	技能	1	危険を予測した運転
	学科	2	危険予測ディスカッション
夜間の運転	技能	4	夜間の運転
悪条件下での運転	技能	5	悪条件下での運転
高速道路教習	学科	1	高速道路での運転に必要な知識
	技能	2	高速道路での運転
応急救護処置	講義	1	応急救護処置とは
		2	実施上の留意事項
	3	救急体制	
	4	応急救護処置の基礎知識	
	5	応急救護処置の基本	
実技	実技	6	応急救護処置の実践
		7	まとめ

教習事項	区分・方法	教習項目	
危険を予測した運転 (貨物自動車)	技能	1	貨物自動車の特性を理解した運転
	技能	2	危険を予測した運転
	学科	3	危険予測ディスカッション
危険を予測した運転 (普通乗用自動車)	技能	1	危険を予測した運転
	学科	2	危険予測ディスカッション
夜間の運転	技能	4	夜間の運転
悪条件下での運転	技能	5	悪条件下での運転
高速道路教習	学科	1	高速道路での運転に必要な知識
	技能	2	高速道路での運転
応急救護処置	講義	1	応急救護処置とは
		2	実施上の留意事項
	3	救急体制	
	4	応急救護処置の基礎知識	
	5	応急救護処置の基本	
実技	実技	6	応急救護処置の実践
		7	まとめ

教習事項	時限	年月日	指導員	実施事項	備考(申し送り事項等)
危険予測教習	1				
	2				
	3				
	4				
	5				
夜間の運転	1				
悪条件下での運転					
高速道路教習	1				
	2				
応急救護処置	1				
	2				
	3				
追加教習記載欄					

教習事項	時限	年月日	指導員	実施事項	備考(申し送り事項等)
危険予測教習	1				
	2				
	3				
	4				
	5				
夜間の運転	1				
悪条件下での運転					
高速道路教習	1				
	2				
応急救護処置	1				
	2				
	3				
追加教習記載欄					

注 運転シミュレーターを使用した教習を行った場合は **シ**、複数教習を行った場合は **複**、暗室教習を行った場合は **暗**、場内教習を行った場合は **場**、として備考欄に記載すること。

注 運転シミュレーターを使用した教習を行った場合は **シ**、複数教習を行った場合は **複**、暗室教習を行った場合は **暗**、場内教習を行った場合は **場**、として備考欄に記載すること。

改正後

普通免許	目	① 他の交通に気配りしながら、危険を予測した運転ができる。
		② 高速走行の特性を知り、高速道路において安全に運転できる。
	標	③ 応急救護処置に関する知識を習得する。

教習事項	区分・方法	教習項目
危険予測教習	技能	1 危険を予測した運転
	学科	2 危険予測ディスカッション
高速道路教習	学科	1 高速道路での運転に必要な知識
	技能	2 高速道路での運転
応急救護処置教習	講義	1 応急救護処置とは 2 実施上の留意事項
		3 救急体制 4 応急救護処置の基礎知識
	実技	5 応急救護処置の基本 6 応急救護処置の実践
		7 まとめ

教習事項	時限	年月日	指導員	実施事項	備考（申し送り事項等）
危険予測教習	1				
	2				
高速道路教習	1				
	2				
応急救護処置教習	1				
	2				
	3				
追加教習記載欄					

注 運転シミュレーターを使用した教習を行った場合は ㊦、複数教習を行った場合は ㊧として備考欄に記載すること。

改正前

普通免許	目	① 他の交通に気配りしながら、危険を予測した運転ができる。
		② 高速走行の特性を知り、高速道路において安全に運転できる。
	標	③ 応急救護処置に関する知識を習得する。

教習事項	区分・方法	教習項目
危険予測教習	技能	1 危険を予測した運転
	学科	2 危険予測ディスカッション
高速道路教習	学科	1 高速道路での運転に必要な知識
	技能	2 高速道路での運転
応急救護処置教習	講義	1 応急救護処置とは 2 実施上の留意事項
		3 救急体制 4 応急救護処置の基礎知識
	実技	5 応急救護処置の基本 6 応急救護処置の実践
		7 まとめ

教習事項	時限	年月日	指導員	実施事項	備考（申し送り事項等）
危険予測教習	1				
	2				
高速道路教習	1				
	2				
応急救護処置教習	1				
	2				
	3				
追加教習記載欄					

注 運転シミュレーターを使用した教習を行った場合は ㊦、複数教習を行った場合は ㊧として備考欄に記載すること。

備考

改正後						改正前						備考
大型二輪免許	目	① 他の交通に気配りしながら、危険を予測した運転ができる。				大型二輪免許	目	① 他の交通に気配りしながら、危険を予測した運転ができる。				
普通二輪免許	標	② 応急救護処置に関する知識を習得する。				普通二輪免許	標	② 応急救護処置に関する知識を習得する。				
教習事項	区分・方法	教習項目				教習事項	区分・方法	教習項目				
危険予測教習	技能	1 危険を予測した運転 4 ケース・スタディ（交差点） 5 交通の状況及び道路環境に応じた運転				危険予測教習	技能	1 危険を予測した運転 4 ケース・スタディ（交差点） 5 交通の状況及び道路環境に応じた運転				
	学科	2 危険予測ディスカッション 3 二人乗り運転に関する知識					学科	2 危険予測ディスカッション 3 二人乗り運転に関する知識				
応急救護処置教習	講義	1 応急救護処置とは 2 実施上の留意事項				応急救護処置教習	講義	1 応急救護処置とは 2 実施上の留意事項				
		3 救急体制 4 応急救護処置の基礎知識						実技	3 救急体制 4 応急救護処置の基礎知識			
	5 応急救護処置の基本		6 応急救護処置の実践		5 応急救護処置の基本		6 応急救護処置の実践					
		7 まとめ		7 まとめ				7 まとめ				
教習事項	時限	年月日	指導員	実施事項	備考（申し送り事項等）	教習事項	時限	年月日	指導員	実施事項	備考（申し送り事項等）	
危険予測教習	1					危険予測教習	1					
	2						2					
	3						3					
応急救護処置教習	1					応急救護処置教習	1					
	2						2					
	3						3					
追加教習記載欄						追加教習記載欄						
注 運転シミュレーターを使用した教習を行った場合は ㊟、複数教習を行った場合は ㊟として備考欄に記載すること。						注 運転シミュレーターを使用した教習を行った場合は ㊟、複数教習を行った場合は ㊟として備考欄に記載すること。						

改正後

改正前

備考

大型第二種 中型第二種 普通第二種 免	目 標	① 他の交通に気配りしながら、危険を予測した運転ができる。 ② 夜間の特性を理解しそれに適した運転行動がとれる。 ③ 様々な悪条件下における状況把握と適切な対応ができる。 ④ 子供、高齢者及び身体障害者の特性を理解し適切な対応ができる。 ⑤ 応急救護処置に関する知識と手技を習得する。
------------------------------	--------	--

大型第二種 中型第二種 普通第二種 免	目 標	① 他の交通に気配りしながら、危険を予測した運転ができる。 ② 夜間の特性を理解しそれに適した運転行動がとれる。 ③ 様々な悪条件下における状況把握と適切な対応ができる。 ④ 子供、高齢者及び身体障害者の特性を理解し適切な対応ができる。 ⑤ 応急救護処置に関する知識と手技を習得する。
------------------------------	--------	--

教習事項	区分・方法	教習事項	目
危険を予測した運転	技能	1 危険を予測した運転	
夜間の運転	学科	2 危険予測ディスカッション	
悪条件下での運転	技能	3 夜間の運転	
身体障害者等への対応	技能	4 悪条件下での運転	
	実習	5 身体障害者等への対応	
応急救護処置	講義	1 応急救護処置とは 3 救急体制 5 各種傷病者に対する対応	2 実施上の一般的留意事項 4 具体的な実施要領 6 まとめ
	実技	7 傷病者の観察・移動 9 心肺蘇生 11 止血法	8 体位管理 10 気道異物除去 12 包帯法 13 固定法

教習事項	区分・方法	教習事項	目
危険を予測した運転	技能	1 危険を予測した運転	
夜間の運転	学科	2 危険予測ディスカッション	
悪条件下での運転	技能	3 夜間の運転	
身体障害者等への対応	技能	4 悪条件下での運転	
	実習	5 身体障害者等への対応	
応急救護処置	講義	1 応急救護処置とは 3 救急体制 5 各種傷病者に対する対応	2 実施上の一般的留意事項 4 具体的な実施要領 6 まとめ
	実技	7 傷病者の観察・移動 9 心肺蘇生 11 止血法	8 体位管理 10 気道異物除去 12 包帯法 13 固定法

教習事項	時限	年月日	指導員	実施事項	備考（申し送り事項等）
危険予測教習	1				
	2				
	3				
夜間の運転	1				
悪条件下での運転	1				
身体障害者等交通弱者への対応	1				
応急救護処置	1				
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
追加教習記載欄					

教習事項	時限	年月日	指導員	実施事項	備考（申し送り事項等）
危険予測教習	1				
	2				
	3				
夜間の運転	1				
悪条件下での運転	1				
身体障害者等交通弱者への対応	1				
応急救護処置	1				
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
追加教習記載欄					

注 運転シミュレーターを使用した教習を行った場合は (シ)、複数教習を行った場合は (複)、暗室教習を行った場合は 暗、場内教習を行った場合は 場、として備考欄に記載すること。

注 運転シミュレーターを使用した教習を行った場合は (シ)、複数教習を行った場合は (複)、暗室教習を行った場合は 暗、場内教習を行った場合は 場、として備考欄に記載すること。

[別記様式第2～第3 略]

[別記様式第2～第3 略]

新旧対照表

○ 道路交通法等の改正等に係る審査基準指

(赤文字及び下線部分は改正部分)

改正後	改正前	備考
<p style="text-align: center;">審 査 基 準</p> <p style="text-align: right;">令和7年3月24日作成</p>	<p style="text-align: center;">審 査 基 準</p> <p style="text-align: right;">令和4年5月13日作成</p>	
<p>法 令 名：道路交通法施行令</p>	<p>法 令 名：道路交通法施行令</p>	
<p>根 拠 条 項：第34条第2項</p>	<p>根 拠 条 項：第34条第2項</p>	
<p>処 分 の 概 要：普通自動車免許等を受けていた期間が通算して1年以上で大型自動車免許の運転免許試験を受けるための教習の課程の指定</p>	<p>処 分 の 概 要：普通自動車免許等を受けていた期間が通算して1年以上で大型自動車免許の運転免許試験を受けるための教習の課程の指定</p>	
<p>原権者（委任先）：千葉県公安委員会</p>	<p>原権者（委任先）：千葉県公安委員会</p>	
<p>法 令 の 定 め：大型自動車免許の欠格事由等の特例に係る教習の課程の指定に関する規則第1条第4項（指定の基準等）</p>	<p>法 令 の 定 め：大型自動車免許の欠格事由等の特例に係る教習の課程の指定に関する規則第1条第4項（指定の基準等）</p>	
<p>審 査 基 準：普通自動車免許等を受けていた期間が通算して1年以上で大型自動車免許の運転免許試験を受けるための教習の課程の指定の基準は、別紙のとおり。</p>	<p>審 査 基 準：普通自動車免許等を受けていた期間が通算して1年以上で大型自動車免許の運転免許試験を受けるための教習の課程の指定の基準は、別紙のとおり。</p>	
<p>標 準 処 理 期 間：14日</p>	<p>標 準 処 理 期 間：14日</p>	
<p>申 請 先：<u>交通部運転免許本部運転教育課</u></p>	<p>申 請 先：<u>千葉県警察本部交通部運転免許本部運転教育課</u></p>	
<p>問 い 合 わ せ 先：交通部運転免許本部運転教育課 教習所指導係（043-274-2000）</p>	<p>問 い 合 わ せ 先：交通部運転免許本部運転教育課 教習所指導係（043-274-2000）</p>	
<p>備 考：</p>	<p>備 考：</p>	

改正後	改正前	備考
<p>別紙</p> <p>[1～4 略]</p> <p>5 教習実施上の留意事項</p> <p>[(1)～(6) 略]</p> <p>(7) 教習時間</p> <p>ア 1時限の時間</p> <p>学科教習及び技能教習は実質 50 分を確保すること（本人の確認、引継ぎ事項の確認、<u>運転免許証又は免許情報記録個人番号カード</u>の確認等の時間は、教習時間に含まれない。）。</p> <p>イ 一日で受けることができる時限数の制限</p> <p>本教習を受ける者 1 人に対する 1 日の技能教習の教習時間は、段階を問わず 3 時限を超えないこと（1 日に 3 時限の教習を行う場合には、連続して 3 時限の教習を行わないこと。ただし、複数教習又は運転シミュレーターによる教習を 2 時限行う場合は、この限りではない。）。</p> <p>なお、教習生が本教習と同時に他の教習を受けている場合においては、他の教習の技能教習の教習時間と合わせて 3 時限を超えないこととする。また、指定教における府令第 33 条第 5 項第 1 号ヨの規定についても、同様とするものとする。</p> <p>[(8) 略]</p> <p>[6～8 略]</p> <p>[別表 略]</p>	<p>別紙 1</p> <p>[1～4 略]</p> <p>5 教習実施上の留意事項</p> <p>[(1)～(6) 略]</p> <p>(7) 教習時間</p> <p>ア 1時限の時間</p> <p>学科教習及び技能教習は実質 50 分を確保すること（本人の確認、引継ぎ事項の確認、<u>運転免許証</u>の確認等の時間は、教習時間に含まれない。）。</p> <p>イ 一日で受けることができる時限数の制限</p> <p>本教習を受ける者 1 人に対する 1 日の技能教習の教習時間は、段階を問わず 3 時限を超えないこと（1 日に 3 時限の教習を行う場合には、連続して 3 時限の教習を行わないこと。ただし、複数教習又は運転シミュレーターによる教習を 2 時限行う場合は、この限りではない。）。</p> <p>なお、教習生が本教習と同時に他の教習を受けている場合においては、他の教習の技能教習の教習時間と合わせて 3 時限を超えないこととする。また、指定教における府令第 33 条第 5 項第 1 号ヨの規定についても、同様とするものとする。</p> <p>[(8) 略]</p> <p>[6～8 略]</p> <p>[別表 略]</p>	<p>免許情報記録個人番号カードを追加</p>

新旧対照表

○ 道路交通法等の改正等に係る審査基準

(赤文字及び下線部分は改正部分)

改正後	改正前	備考
<p style="text-align: center;">審 査 基 準</p> <p style="text-align: right;">令和7年3月24日作成</p>	<p style="text-align: center;">審 査 基 準</p> <p style="text-align: right;">令和4年5月13日作成</p>	
<p>法 令 名：道路交通法施行令</p>	<p>法 令 名：道路交通法施行令</p>	
<p>根 拠 条 項：第34条第4項</p>	<p>根 拠 条 項：第34条第4項</p>	
<p>処 分 の 概 要：普通自動車免許等を受けていた期間が通算して1年以上で中型自動車免許の運転免許試験を受けるための教習の課程の指定</p>	<p>処 分 の 概 要：普通自動車免許等を受けていた期間が通算して1年以上で中型自動車免許の運転免許試験を受けるための教習の課程の指定</p>	
<p>原権者（委任先）：千葉県公安委員会</p>	<p>原権者（委任先）：千葉県公安委員会</p>	
<p>法 令 の 定 め：大型自動車免許の欠格事由等の特例に係る教習の課程の指定に関する規則第1条第5項（指定の基準等）</p>	<p>法 令 の 定 め：大型自動車免許の欠格事由等の特例に係る教習の課程の指定に関する規則第1条第5項（指定の基準等）</p>	
<p>審 査 基 準：普通自動車免許等を受けていた期間が通算して1年以上で中型自動車免許の運転免許試験を受けるための教習の課程の指定の基準は、別紙のとおり。</p>	<p>審 査 基 準：普通自動車免許等を受けていた期間が通算して1年以上で中型自動車免許の運転免許試験を受けるための教習の課程の指定の基準は、別紙のとおり。</p>	
<p>標 準 処 理 期 間：14日</p>	<p>標 準 処 理 期 間：14日</p>	
<p>申 請 先：<u>交通部運転免許本部運転教育課</u></p>	<p>申 請 先：<u>千葉県警察本部交通部運転免許本部運転教育課</u></p>	
<p>問 い 合 わ せ 先：<u>交通部</u>運転免許本部運転教育課 教習所指導係（043-274-2000）</p>	<p>問 い 合 わ せ 先：運転免許本部運転教育課 教習所指導係（043-274-2000）</p>	
<p>備 考：</p>	<p>備 考：</p>	

改正後	改正前	備考
<p>別紙</p> <p>[1～4 略]</p> <p>5 教習実施上の留意事項</p> <p>[(1)～(6) 略]</p> <p>(7) 教習時間</p> <p>ア 1 時限の時間</p> <p>学科教習及び技能教習は実質 50 分を確保すること（本人の確認、引継ぎ事項の確認、<u>運転免許証又は免許情報記録個人番号カード</u>の確認等の時間は、教習時間に含まれない。）。</p> <p>イ 一日で受けることができる時限数の制限</p> <p>本教習を受ける者 1 人に対する 1 日の技能教習の教習時間は、段階を問わず 3 時限を超えないこと（1 日に 3 時限の教習を行う場合には、連続して 3 時限の教習を行わないこと。ただし、複数教習又は運転シミュレーターによる教習を 2 時限行う場合は、この限りではない。）。</p> <p>なお、教習生が本教習と同時に他の教習を受けている場合においては、他の教習の技能教習の教習時間と合わせて 3 時限を超えないこととする。また、指定教における府令第 33 条第 5 項第 1 号ヨの規定についても、同様とするものとする。</p> <p>[(8) 略]</p> <p>[6～8 略]</p> <p>[別表 略]</p>	<p>別紙 1</p> <p>[1～4 略]</p> <p>5 教習実施上の留意事項</p> <p>[(1)～(6) 略]</p> <p>(7) 教習時間</p> <p>ア 1 時限の時間</p> <p>学科教習及び技能教習は実質 50 分を確保すること（本人の確認、引継ぎ事項の確認、<u>運転免許証</u>の確認等の時間は、教習時間に含まれない。）。</p> <p>イ 一日で受けることができる時限数の制限</p> <p>本教習を受ける者 1 人に対する 1 日の技能教習の教習時間は、段階を問わず 3 時限を超えないこと（1 日に 3 時限の教習を行う場合には、連続して 3 時限の教習を行わないこと。ただし、複数教習又は運転シミュレーターによる教習を 2 時限行う場合は、この限りではない。）。</p> <p>なお、教習生が本教習と同時に他の教習を受けている場合においては、他の教習の技能教習の教習時間と合わせて 3 時限を超えないこととする。また、指定教における府令第 33 条第 5 項第 1 号ヨの規定についても、同様とするものとする。</p> <p>[(8) 略]</p> <p>[6～8 略]</p> <p>[別表 略]</p>	<p>免許情報記録個人番号カードを追加</p>

新旧対照表

○ 道路交通法等の改正等に係る審査基準

(赤文字及び下線部分は改正部分)

改正後	改正前	備考
<p style="text-align: center;">審 査 基 準</p> <p style="text-align: right;">令和7年3月24日作成</p>	<p style="text-align: center;">審 査 基 準</p> <p style="text-align: right;">令和4年5月13日作成</p>	
<p>法 令 名：道路交通法施行令</p>	<p>法 令 名：道路交通法施行令</p>	
<p>根 拠 条 項：第34条第5項</p>	<p>根 拠 条 項：第34条第5項</p>	
<p>処 分 の 概 要：19歳から牽引第二種免許以外の第二種運転免許の運転免許試験を受けるための教習の課程の指定</p>	<p>処 分 の 概 要：19歳から牽引第二種免許以外の第二種運転免許の運転免許試験を受けるための教習の課程の指定</p>	
<p>原権者（委任先）：千葉県公安委員会</p>	<p>原権者（委任先）：千葉県公安委員会</p>	
<p>法 令 の 定 め：大型自動車免許の欠格事由等の特例に係る教習の課程の指定に関する規則第1条第6項（指定の基準等）</p>	<p>法 令 の 定 め：大型自動車免許の欠格事由等の特例に係る教習の課程の指定に関する規則第1条第6項（指定の基準等）</p>	
<p>審 査 基 準：19歳から牽引第二種免許以外の第二種運転免許の運転免許試験を受けるための教習の課程の指定の基準は、別紙のとおり。</p>	<p>審 査 基 準：19歳から牽引第二種免許以外の第二種運転免許の運転免許試験を受けるための教習の課程の指定の基準は、別紙のとおり。</p>	
<p>標 準 処 理 期 間：14日</p>	<p>標 準 処 理 期 間：14日</p>	
<p>申 請 先：<u>交通部運転免許本部運転教育課</u></p>	<p>申 請 先：<u>千葉県警察本部交通部運転免許本部運転教育課</u></p>	
<p>問 い 合 わ せ 先：交通部運転免許本部運転教育課 教習所指導係（043-274-2000）</p>	<p>問 い 合 わ せ 先：交通部運転免許本部運転教育課 教習所指導係（043-274-2000）</p>	
<p>備 考：</p>	<p>備 考：</p>	

改正後	改正前	備考
<p>別紙</p> <p>[1～4 略]</p> <p>5 教習実施上の留意事項</p> <p>[(1)～(6) 略]</p> <p>(7) 教習時間</p> <p>ア 1 時限の時間</p> <p>学科教習及び技能教習は実質 50 分を確保すること（本人の確認、引継ぎ事項の確認、<u>運転免許証又は免許情報記録個人番号カード</u>の確認等の時間は、教習時間に含まれない。）。</p> <p>イ 一日で受けることができる時限数の制限</p> <p>本教習を受ける者 1 人に対する 1 日の技能教習の教習時間は、段階を問わず 3 時限を超えないこと（1 日に 3 時限の教習を行う場合には、連続して 3 時限の教習を行わないこと。ただし、複数教習又は運転シミュレーターによる教習を 2 時限行う場合は、この限りではない。）。</p> <p>なお、教習生が本教習と同時に他の教習を受けている場合においては、他の教習の技能教習の教習時間と合わせて 3 時限を超えないこととする。また、指定教における府令第 33 条第 5 項第 1 号ヨの規定についても、同様とするものとする。</p> <p>[(8) 略]</p> <p>[6～8 略]</p> <p>[別表 略]</p>	<p>別紙 1</p> <p>[1～4 略]</p> <p>5 教習実施上の留意事項</p> <p>[(1)～(6) 略]</p> <p>(7) 教習時間</p> <p>ア 1 時限の時間</p> <p>学科教習及び技能教習は実質 50 分を確保すること（本人の確認、引継ぎ事項の確認、<u>運転免許証</u>の確認等の時間は、教習時間に含まれない。）。</p> <p>イ 一日で受けることができる時限数の制限</p> <p>本教習を受ける者 1 人に対する 1 日の技能教習の教習時間は、段階を問わず 3 時限を超えないこと（1 日に 3 時限の教習を行う場合には、連続して 3 時限の教習を行わないこと。ただし、複数教習又は運転シミュレーターによる教習を 2 時限行う場合は、この限りではない。）。</p> <p>なお、教習生が本教習と同時に他の教習を受けている場合においては、他の教習の技能教習の教習時間と合わせて 3 時限を超えないこととする。また、指定教における府令第 33 条第 5 項第 1 号ヨの規定についても、同様とするものとする。</p> <p>[(8) 略]</p> <p>[6～8 略]</p> <p>[別表 略]</p>	<p>免許情報記録個人番号カードを追加</p>

新旧対照表

○ 道路交通法等の改正等に係る審査基準

(赤文字及び下線部分は改正部分)

改正後	改正前	備考
<p style="text-align: center;">審 査 基 準</p> <p style="text-align: right;">令和7年3月24日作成</p>	<p style="text-align: center;">審 査 基 準</p> <p style="text-align: right;">令和4年5月13日作成</p>	
<p>法 令 名：道路交通法施行令</p>	<p>法 令 名：道路交通法施行令</p>	
<p>根 拠 条 項：第34条第7項</p>	<p>根 拠 条 項：第34条第7項</p>	
<p>処 分 の 概 要：普通自動車免許等を受けていた期間が通算して1年以上で牽引第二種免許以外の第二種運転免許の運転免許試験を受けるための教習の課程の指定</p>	<p>処 分 の 概 要：普通自動車免許等を受けていた期間が通算して1年以上で牽引第二種免許以外の第二種運転免許の運転免許試験を受けるための教習の課程の指定</p>	
<p>原権者（委任先）：千葉県公安委員会</p>	<p>原権者（委任先）：千葉県公安委員会</p>	
<p>法 令 の 定 め：大型自動車免許の欠格事由等の特例に係る教習の課程の指定に関する規則第1条第7項（指定の基準等）</p>	<p>法 令 の 定 め：大型自動車免許の欠格事由等の特例に係る教習の課程の指定に関する規則第1条第7項（指定の基準等）</p>	
<p>審 査 基 準：普通自動車免許等を受けていた期間が通算して1年以上で牽引第二種以外の第二種運転免許の運転免許試験を受けるための教習の課程の指定の基準は、別紙のとおり。</p>	<p>審 査 基 準：普通自動車免許等を受けていた期間が通算して1年以上で牽引第二種以外の第二種運転免許の運転免許試験を受けるための教習の課程の指定の基準は、別紙のとおり。</p>	
<p>標 準 処 理 期 間：14日</p>	<p>標 準 処 理 期 間：14日</p>	
<p>申 請 先：<u>交通部運転免許本部運転教育課</u></p>	<p>申 請 先：<u>千葉県警察本部交通部運転免許本部運転教育課</u></p>	
<p>問 い 合 せ 先：交通部運転免許本部運転教育課 教習所指導係（043-274-2000）</p>	<p>問 い 合 せ 先：交通部運転免許本部運転教育課 教習所指導係（043-274-2000）</p>	
<p>備 考：</p>	<p>備 考：</p>	

改正後	改正前	備考
<p>別紙</p> <p>[1～4 略]</p> <p>5 教習実施上の留意事項</p> <p>[(1)～(6) 略]</p> <p>(7) 教習時間</p> <p>ア 1時限の時間 学科教習及び技能教習は実質 50 分を確保すること（本人の確認、引継ぎ事項の確認、<u>運転免許証又は免許情報記録個人番号カード</u>の確認等の時間は、教習時間に含まれない。）。</p> <p>イ 一日で受けることができる時限数の制限 本教習を受ける者 1 人に対する 1 日の技能教習の教習時間は、段階を問わず 3 時限を超えないこと（1 日に 3 時限の教習を行う場合には、連続して 3 時限の教習を行わないこと。ただし、複数教習又は運転シミュレーターによる教習を 2 時限行う場合は、この限りではない。）。</p> <p>なお、教習生が本教習と同時に他の教習を受けている場合においては、他の教習の技能教習の教習時間と合わせて 3 時限を超えないこととする。また、指定教における府令第 33 条第 5 項第 1 号ヨの規定についても、同様とするものとする。</p> <p>[(8) 略]</p> <p>[6～8 略]</p> <p>[別表 略]</p>	<p>別紙 1</p> <p>[1～4 略]</p> <p>5 教習実施上の留意事項</p> <p>[(1)～(6) 略]</p> <p>(7) 教習時間</p> <p>ア 1時限の時間 学科教習及び技能教習は実質 50 分を確保すること（本人の確認、引継ぎ事項の確認、<u>運転免許証</u>の確認等の時間は、教習時間に含まれない。）。</p> <p>イ 一日で受けることができる時限数の制限 本教習を受ける者 1 人に対する 1 日の技能教習の教習時間は、段階を問わず 3 時限を超えないこと（1 日に 3 時限の教習を行う場合には、連続して 3 時限の教習を行わないこと。ただし、複数教習又は運転シミュレーターによる教習を 2 時限行う場合は、この限りではない。）。</p> <p>なお、教習生が本教習と同時に他の教習を受けている場合においては、他の教習の技能教習の教習時間と合わせて 3 時限を超えないこととする。また、指定教における府令第 33 条第 5 項第 1 号ヨの規定についても、同様とするものとする。</p> <p>[(8) 略]</p> <p>[6～8 略]</p> <p>[別表 略]</p>	<p>免許情報記録個人番号カードを追加</p>

新旧対照表

○ 道路交通法等の改正等に係る審査基準

(赤文字及び下線部分は改正部分)

改正後	改正前	備考
<p style="text-align: center;">審 査 基 準</p> <p style="text-align: right;">令和7年3月24日作成</p>	<p style="text-align: center;">審 査 基 準</p> <p style="text-align: right;">令和4年5月13日作成</p>	
<p>法 令 名：道路交通法施行令</p>	<p>法 令 名：道路交通法施行令</p>	
<p>根 拠 条 項：第34条第8項</p>	<p>根 拠 条 項：第34条第8項</p>	
<p>処 分 の 概 要：19歳から牽引第二種免許の運転免許試験を受けるための教習の課程の指定</p>	<p>処 分 の 概 要：19歳から牽引第二種免許の運転免許試験を受けるための教習の課程の指定</p>	
<p>原権者（委任先）：千葉県公安委員会</p>	<p>原権者（委任先）：千葉県公安委員会</p>	
<p>法 令 の 定 め：大型自動車免許の欠格事由等の特例に係る教習の課程の指定に関する規則第1条第8項（指定の基準等）</p>	<p>法 令 の 定 め：大型自動車免許の欠格事由等の特例に係る教習の課程の指定に関する規則第1条第8項（指定の基準等）</p>	
<p>審 査 基 準：19歳から牽引第二種免許の運転免許試験を受けるための教習の課程の指定の基準は、別紙のとおり。</p>	<p>審 査 基 準：19歳から牽引第二種免許の運転免許試験を受けるための教習の課程の指定の基準は、別紙のとおり。</p>	
<p>標 準 処 理 期 間：14日</p>	<p>標 準 処 理 期 間：14日</p>	
<p>申 請 先：<u>交通部運転免許本部運転教育課</u></p>	<p>申 請 先：<u>千葉県警察本部交通部運転免許本部運転教育課</u></p>	
<p>問 い 合 わ せ 先：交通部運転免許本部運転教育課 教習所指導係（043-274-2000）</p>	<p>問 い 合 わ せ 先：交通部運転免許本部運転教育課 教習所指導係（043-274-2000）</p>	
<p>備 考：</p>	<p>備 考：</p>	

改正後	改正前	備考
<p>別紙</p> <p>[1～4 略]</p> <p>5 教習実施上の留意事項</p> <p>[(1)～(6) 略]</p> <p>(7) 教習時間</p> <p>ア 1 時限の時間</p> <p>学科教習及び技能教習は実質 50 分を確保すること（本人の確認、引継ぎ事項の確認、<u>運転免許証又は免許情報記録個人番号カード</u>の確認等の時間は、教習時間に含まれない。）。</p> <p>イ 一日で受けることができる時限数の制限</p> <p>本教習を受ける者 1 人に対する 1 日の技能教習の教習時間は、段階を問わず 3 時限を超えないこと（1 日に 3 時限の教習を行う場合には、連続して 3 時限の教習を行わないこと。ただし、複数教習又は運転シミュレーターによる教習を 2 時限行う場合は、この限りではない。）。</p> <p>なお、教習生が本教習と同時に他の教習を受けている場合においては、他の教習の技能教習の教習時間と合わせて 3 時限を超えないこととする。また、指定教における府令第 33 条第 5 項第 1 号ヨの規定についても、同様とするものとする。</p> <p>[(8) 略]</p> <p>[6～8 略]</p> <p>[別表 略]</p>	<p>別紙 1</p> <p>[1～4 略]</p> <p>5 教習実施上の留意事項</p> <p>[(1)～(6) 略]</p> <p>(7) 教習時間</p> <p>ア 1 時限の時間</p> <p>学科教習及び技能教習は実質 50 分を確保すること（本人の確認、引継ぎ事項の確認、<u>運転免許証</u>の確認等の時間は、教習時間に含まれない。）。</p> <p>イ 一日で受けることができる時限数の制限</p> <p>本教習を受ける者 1 人に対する 1 日の技能教習の教習時間は、段階を問わず 3 時限を超えないこと（1 日に 3 時限の教習を行う場合には、連続して 3 時限の教習を行わないこと。ただし、複数教習又は運転シミュレーターによる教習を 2 時限行う場合は、この限りではない。）。</p> <p>なお、教習生が本教習と同時に他の教習を受けている場合においては、他の教習の技能教習の教習時間と合わせて 3 時限を超えないこととする。また、指定教における府令第 33 条第 5 項第 1 号ヨの規定についても、同様とするものとする。</p> <p>[(8) 略]</p> <p>[6～8 略]</p> <p>[別表 略]</p>	<p>免許情報記録個人番号カードを追加</p>

新旧対照表

○ 道路交通法等の改正等に係る審査基準

(赤文字及び下線部分は改正部分)

改正後	改正前	備考
<p style="text-align: center;">審 査 基 準</p> <p style="text-align: right;">令和7年3月24日作成</p>	<p style="text-align: center;">審 査 基 準</p> <p style="text-align: right;">令和4年5月13日作成</p>	
<p>法 令 名：道路交通法施行令</p>	<p>法 令 名：道路交通法施行令</p>	
<p>根 拠 条 項：第34条第10項</p>	<p>根 拠 条 項：第34条第10項</p>	
<p>処 分 の 概 要：普通自動車免許等を受けていた期間が通算して1年以上で牽引第二種免許の運転免許試験を受けるための教習の課程の指定</p>	<p>処 分 の 概 要：普通自動車免許等を受けていた期間が通算して1年以上で牽引第二種免許の運転免許試験を受けるための教習の課程の指定</p>	
<p>原権者（委任先）：千葉県公安委員会</p>	<p>原権者（委任先）：千葉県公安委員会</p>	
<p>法 令 の 定 め：大型自動車免許の欠格事由等の特例に係る教習の課程の指定に関する規則第1条第9項（指定の基準等）</p>	<p>法 令 の 定 め：大型自動車免許の欠格事由等の特例に係る教習の課程の指定に関する規則第1条第9項（指定の基準等）</p>	
<p>審 査 基 準：普通自動車免許等を受けていた期間が通算して1年以上で牽引第二種免許の運転免許試験を受けるための教習の課程の指定の基準は、別紙のとおり。</p>	<p>審 査 基 準：普通自動車免許等を受けていた期間が通算して1年以上で牽引第二種免許の運転免許試験を受けるための教習の課程の指定の基準は、別紙のとおり。</p>	
<p>標 準 処 理 期 間：14日</p>	<p>標 準 処 理 期 間：14日</p>	
<p>申 請 先：<u>交通部運転免許本部運転教育課</u></p>	<p>申 請 先：<u>千葉県警察本部交通部運転免許本部運転教育課</u></p>	
<p>問 い 合 わ せ 先：交通部運転免許本部運転教育課 教習所指導係（043-274-2000）</p>	<p>問 い 合 わ せ 先：交通部運転免許本部運転教育課 教習所指導係（043-274-2000）</p>	
<p>備 考：</p>	<p>備 考：</p>	

改正後	改正前	備考
<p>別紙</p> <p>[1～4 略]</p> <p>5 教習実施上の留意事項</p> <p>[(1)～(6) 略]</p> <p>(7) 教習時間</p> <p>ア 1 時限の時間</p> <p>学科教習及び技能教習は実質 50 分を確保すること（本人の確認、引継ぎ事項の確認、<u>運転免許証又は免許情報記録個人番号カード</u>の確認等の時間は、教習時間に含まれない。）。</p> <p>イ 一日で受けることができる時限数の制限</p> <p>本教習を受ける者 1 人に対する 1 日の技能教習の教習時間は、段階を問わず 3 時限を超えないこと（1 日に 3 時限の教習を行う場合には、連続して 3 時限の教習を行わないこと。ただし、複数教習又は運転シミュレーターによる教習を 2 時限行う場合は、この限りではない。）。</p> <p>なお、教習生が本教習と同時に他の教習を受けている場合においては、他の教習の技能教習の教習時間と合わせて 3 時限を超えないこととする。また、指定教における府令第 33 条第 5 項第 1 号ヨの規定についても、同様とするものとする。</p> <p>[(8) 略]</p> <p>[6～8 略]</p> <p>[別表 略]</p>	<p>別紙 1</p> <p>[1～4 略]</p> <p>5 教習実施上の留意事項</p> <p>[(1)～(6) 略]</p> <p>(7) 教習時間</p> <p>ア 1 時限の時間</p> <p>学科教習及び技能教習は実質 50 分を確保すること（本人の確認、引継ぎ事項の確認、<u>運転免許証</u>の確認等の時間は、教習時間に含まれない。）。</p> <p>イ 一日で受けることができる時限数の制限</p> <p>本教習を受ける者 1 人に対する 1 日の技能教習の教習時間は、段階を問わず 3 時限を超えないこと（1 日に 3 時限の教習を行う場合には、連続して 3 時限の教習を行わないこと。ただし、複数教習又は運転シミュレーターによる教習を 2 時限行う場合は、この限りではない。）。</p> <p>なお、教習生が本教習と同時に他の教習を受けている場合においては、他の教習の技能教習の教習時間と合わせて 3 時限を超えないこととする。また、指定教における府令第 33 条第 5 項第 1 号ヨの規定についても、同様とするものとする。</p> <p>[(8) 略]</p> <p>[6～8 略]</p> <p>[別表 略]</p>	<p>免許情報記録個人番号カードを追加</p>